

3 福祉関係団体

問1 貴団体について教えてください。

団体名称	主な活動内容	主な活動拠点
壱丁目吉和会 (いきいきクラブ)	・自治会行事に参加(祭・防災訓練等) ・スポーツ活動 ・リサイクル活動	自治会館 (愛宕会館)
シラコバト団地 自治会	自治会活動 1)上平地区自治事業参加 2)防災体制の充実 3)福祉関連活動(民生委員) 4)共用部分の管理(道路・照明) 5)各種募金の集計 6)防犯夜間パトロール 7)廃品回収(月1回) 8)こぼとサロンへの助成 9)花と緑の会の助成	自治会事務所 埼玉県公社上尾市
大谷本郷自治会	・自治会行事 ・サロン活動	自治会館
ビレッジハウス 上尾向原自治会	見守り活動、いきいきクラブ活動	集会所
藤波区	自治体活動	地区内公民館
西宮下三丁目自治会	自治会活動	西宮下三丁目 自治会館
いきいきクラブ 「まるやま」	・地域美化の為にゴミ拾い(週1回) ・グラウンドゴルフ、輪投げ等(運動) ・パタカラ体操(口腔ケア) ・手芸、脳トレ、手足の体操、紙芝居、歌(脳の活性化とボケ防止)	自治会事務所内 と、その周辺の広 場等
畔吉前原自治会	諏訪神社春祈禱祭 ・秋例大祭 ・お焚きあげ、クリーン上尾運動、防災訓練、だんらんの家、畔吉健康ウォーク、大石ふれあい健康ウォーク、歳旦祭、新年会、防犯安全パトロール	ささらの里
原市地区自治会	防犯パトロール、瓦葺小学校の登校時間見守り、ラジオ体操、環境美化、アッピー元気体操、防災士、小さな助け合い運動、社会福祉協議支部長、元気フェスタ、小中学校運営委員	小中学校、自治会 館、支所、公民館
中分自治会	・各種団体広報回覧 ・見守り活動 ・青パト	中分公民館
上町町会	祭り、盆踊り、学校パトロール、だんらんの家、その他町内補助金団体への支援	公民館
富士見団地自治会	・自治会活動 ・見守り活動 ・自主防災活動 ・防犯活動 ・サロン活動だんらんの家等	・富士見団地集会所 ・富士見団地内 全域(公園他)
谷津一丁目町内会	町内活動(募金、防犯、防災、清掃、リサイクル、広報、サロン、夏祭り、盆踊り、文化祭)、第三地区活動(こどもわんぱく祭り、小中あいさつ運動)、上尾西地区(富士見小避難所開設)、鴨川防災訓練	谷津公民館
西門前区	・ふれあいサロン ・こどもの見守り ・リサイクル活動 ・アッピー元気体操 ・敬老会や新年会 ・ストレッチ ・カラオケ ・自主防災訓練 ・グラウンドゴルフ ・公園の草取り	西門前集会所
レック上尾自治会	防犯、見守り活動、敬老会、木老会(カラオケ、麻雀、卓球、囲碁・将棋等)、清掃運動、花いっぱい運動	レック上尾周辺
上組自治会	だんらん、いきいき、見守り	上組公民館
上宿自治会	1.防犯・防災活動 2.サロン活動 3.地区内環境整備 4.平方地区内、各種行事への参加 5.神社行事への協力 6.学校行事・運営への協力	上宿公民館
南区自治会	リサイクル活動、班長会議、グラウンドゴルフ	南区公民館、他

団体名称	活動内容	活動拠点
上郷区自治会	・サロン活動(月1回)・だんらんの家・見守り活動・敬老会・お祭り・カラオケ、手芸、囲碁、麻雀、ボッチャ、グラウンドゴルフ、アッピー元気体操	上郷区集会所、上郷区広場
原新町自治会	見守り活動、自主防災、アッピー体操、いきいきクラブ(踊り、コーラス、清掃活動)、だんらんの家(将棋、麻雀、囲碁)	原新町公民館
平方下宿自治会	自治会活動	下宿公民館
弁財区会	・児童見守る会・長寿の友の会(後期高齢者)	ふれあい会館
畔吉雲雀区自治会	見守り・いきいきクラブ・だんらん	地区集会場
二ツ宮一区	1. 児童、登下校時の見守り(旗振り) 2. 地域の安全パトロール(防犯、防火、詐欺被害等) 3. 地域の清掃・美化を定期的実施 4. 回覧板の回付	二ツ宮公民館
原市いきいきクラブ 亀楽会	毎月1回定例会、誕生会	団地内集会所
戸崎団地自治会	自治会運営全般	自治会館
愛宕一丁目町内会		会長宅、公民館
西門前いきいき クラブ	1. グラウンドゴルフ 2. カラオケ 3. 会員の見守り活動	1. 上平小学校校庭、氷川神社 2. 集会所 3. 会員による電話連絡
ビレッジハウス 上尾向原	サロン活動、見守り活動、レクリエーション活動	集会所
むかしの遊び 演技集団「童夢 21」	むかしの遊びや歌、踊りなどを脚本に組み込み、プロジェクターを使い映像と音の世界へ誘います。手品や安来節も披露。	訪問先、メンバーの自宅
輪太鼓虹の会	太鼓の演奏	イコス上尾、かしのき特別支援学校、桶川農業センター
アミティ	編物の作品の寄付	月1回の定例会：ボランティアビューロー、作成：各自自宅で行う
緑丘5丁目 いきいきクラブ	毎月1回例会、定例会。誕生会。スポーツ(GG, GB, バタンク)、各種講演会、TV 上映会、公園清掃、リサイクル、見守り	緑丘5丁目公園、緑丘5丁目公民館
緑丘第4 いきいきクラブ	毎月5日、15日、25日にサロンとだんらんの家。小学校登下校見守り。誕生会記念に毎月該当者に祝品。	公民館
浅間台自治会	自治会活動全般	浅間台会館
向原町内会	夏祭り、日帰り旅行、新年会、見守り活動、敬老祝賀会	公民館、東小校庭
向山町内会	町内会主催の行事(納涼祭、祇園祭等)、各種団体を窓口にしたレクリエーション、見守り等	自治センター
上平第一寿会	グラウンドゴルフ	氷川神社
泉台彩泉会	お楽しみ会(映画や音楽鑑賞等)、公園清掃、新年会、暑気払い、食事会、道路清掃、だんらんの家茶和会、クラブ活動(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ハーモニカ、健康マージャン)	泉台記念会館
本町 3・4 丁目いき いきクラブ	1. 学童見守り活動(中央小学校下校時) 2. カラオケ 3. グラウンドゴルフ 4. 誕生祝い茶会等	本町自治会館

団体名称	活動内容	活動拠点
シティタワー上尾駅前自治会	行事の開催：演奏会、創作展示会、敬老会、研修等 防災(自主防)：防災訓練、防災備品の手配、保管 社会奉仕：登校見守り、各種募金・市等の情報の周知	当マンション集会室、及びエントランスホール
西宮下一区いきいきクラブ	だんらんの家、ふれあいサロン、鴨川小・南中登下校見守り、青色灯パトロールカー、かもまる資源回収、防犯推進連絡(協)	天神会館(自治会館)
民踊ボランティア「舞」	介護施設訪問をして東京音頭等の踊りを披露する	コミセン、ボランティアビューロー、訪問先
愛宕二丁目町内会	町内会会長	
栄町町内会	町内会の行事…夏祭り、秋祭り、小学生の登校時挨拶運動、いきいきクラブ主体の町内グラウンドゴルフ大会、草もち交流会	公民館、栄町公園
点訳”EYE”	点字カレンダーの作成、中途失明者への点字学習指導、小中学校の福祉体験授業への講師派遣、各種点訳事業	メンバーの自宅、市民活動支援センター
春日町内会	・アッピー元気体操 ・春日倶楽部 ・春日歌の会	春日記念会館
原市団地自治会		自治会事務所(UR都市機構原市団地集会所)
小敷谷西部区自治会	・サロン活動 ・見守り活動 ・児童登下校安全確保 ・安否確認	小敷谷西部公民館
宮本町町内会		公民館(宮本町)
上野自治会	地域コミュニティ促進：交流会、親子芋ほり、お散歩講座等 防災・防犯活動：防災訓練、パトロール等	上野集落センター
愛宕三丁目町内会	1.夏祭り 2.町内清掃活動 3.リサイクル活動 4.神社行事 5.町内秋祭り 6.防災訓練 7.社協活動 8.小中学校の福祉体験授業への講師行事等々	1.愛宕公民館 2.愛宕神社境内等々
介護者支援の会あげお	介護者サロン「ひとやすみ」の開催、介護、介護者、認知症等の学習会開催	上尾市市民活動支援センター、上尾市社協ボランティアビューロー
西上尾第二団地自治会	自治会活動全般	UR 団地内集会所、自治会事務所
久保自治会	1.だんらんの家活動 2.グラウンドゴルフ活動 3.いきいきクラブ 4.芝川小学校見守り活動(スクールガード) 5.地域防犯活動 6.定例班長会 7.自主防災活動	久保自治会館
原市2区つくし会	毎月第1.3.5金曜日：グラウンドゴルフ練習 毎月第2.4金曜日：月例会、例会	2区広場、集会所
こども食堂「とまと」	こども食堂	公民館
なないろ	障害当事者の自立に向けての講座や学習活動、余暇活動	主に上尾市内
東今泉町会	・班長会議(月1回)で暮らしに関する内容を回覧等に対応 ・社協の地区長、理事と相談し高齢者に関心のあるテーマを決め、集会所で懇談や話し合いをする。	・集会所 ・いきいきクラブの活動拠点(みんなの広場、学校等)
原市七区親交会	・防犯推進 ・パトロール ・サロン ・区の広報参加 ・踊り ・盆踊り、練習会 ・ペタンク ・ラジオ体操運営	原市七区会館

団体名称	活動内容	活動拠点
上郷寿会	老人会としての活動、講演会、映画会、囲碁、俳句、水墨画、ポッチャ、手芸、グラウンドゴルフ、カラオケの各部定例会合	上郷区集会所
原市第一区町内会	自転車修理	原市第一区公民館
領家西部寿楽会	グラウンドゴルフ、旅行、お茶飲み会	太子堂、 農村センター
精神保健ボランティアハーモニー	・精神障害者との交流 ・各施設に依頼された販売の手伝い ・施設に伺いプログラムサポート(調理・スポーツ) ・月1回の定例会・各イベントのお誘いへの参加・ハーモニー事業「交流会」の企画(年1回)、当事者の方、関係者の方をお呼びして。	上尾市公民館、 文化センター
下平塚いきいきクラブみどり会	グラウンドゴルフ、ゲートボール、卓球、大正琴、夏祭り、こども広場清掃、餅つき大会に参加	自治会会館、こども広場、市役所、支所、上平公園
上尾市緑丘いきいき第1クラブ	1.奉仕活動…道路清掃、募金等 2. グラウンドゴルフ、旅行等 3. サロン活動…誕生日訪問等での見守り等	緑丘公民館、スポーツ広場等
西貝塚自治会	自治会活動	
日の出町内会	町内活動全般	公民館
上尾東団地自治会	サロン活動、夏祭りに代わる「みんなの集い」(芸能サークルの発表が中心となる)、毎月の団地内定期清掃	東団地集会所
箕の木区自治会	管轄自治会内の全ての事業 ・自治会内、及び社殿等の清掃 ・敬老事業 ・防災訓練 ・リサイクル活動(月1回)	自治会内公民館
緑丘第二西いきいきクラブ	1. サロン活動→毎月5日にだんらんの家で実施。 2. 年1回の旅行、活動を実施した。(R7/12/9) 3. 道路清掃(毎月第一日曜日に実施) 4. いきいき誕生者→祝品を配布	緑丘公民館
壱丁目地区自治会	自治会活動…回覧、クリーン上尾、夏祭り、敬老会、募金、防災訓練、交流会、サロン活動、見守り活動等	愛宕会館(自治会管理物件)
こども食堂「でんでん虫」	こども食堂	畔吉集会所、鈴木事務所
フードパントリー「パンプキン」	子育て中の世帯で、必要な世帯に食材配布する。	鈴木事務所
上尾プレーパークめぶきの会	大人都合の禁止事項を設けず「やってみたい」というこどもの気持ちに寄り添った遊び場であるプレーパークを月1回開催しております。	上尾運動公園、さいたま水上公園跡地、入場ゲート前
上尾傾聴の会ダンボ	高齢者施設での傾聴および体操や脳トレ等、スタッフさんのお手伝い。	上尾市内の高齢者施設
いきいきクラブあけぼの会	毎月サロン活動、運動	自治会館
未楽来	介護施設に出掛けて集団レクリエーション(脳トレ、手足の運動、音楽療法等)、利用者の方々と共に「大いに笑う」こと	ボランティアビューロー(打ち合わせ等)、介護施設
原市八区自治会	・おしゃべりプラザ ・ふれあいカフェ ・交流会 ・小さなお助け会	原市八区自治会館
原市第5区自治会	町内行事、各クラブの支援・協力	町内、各部、公民館など
西宮下一区町内会	行事(納涼大会、文化展等)、自主防災訓練、サロン活動サポート	天神会館
上尾市二ツ宮いきいきクラブ	カラオケ月1回、グラウンドゴルフ(週3日:午前中)	カラオケは公民館、グラウンドゴルフは二ツ宮公園

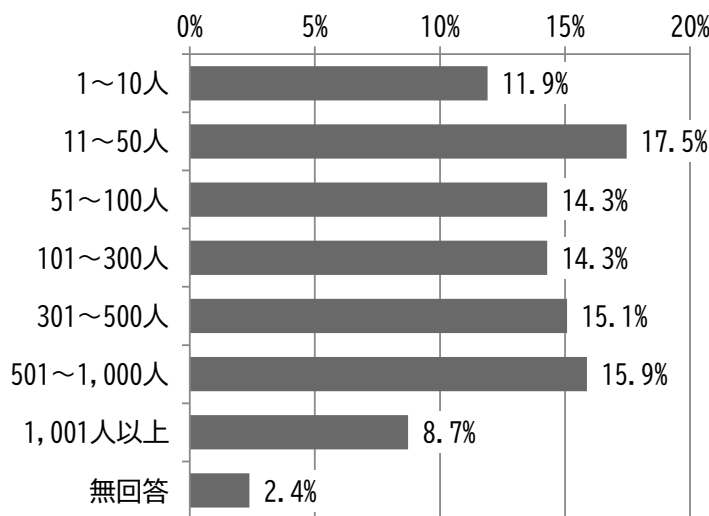
団体名称	活動内容	活動拠点
柏座四丁目町内会	1.夏祭り 2.盆踊り 3.リサイクル 4.敬老会 5.いきいきクラブ 6.レクリエーション 7.芋煮会 8.防災 9.防犯	柏座公民館
アッピー体操クラブ 上尾	アッピー体操	上尾文化センター、上尾公民館
上尾いきいきクラブ 連合会小敷谷東部寿 楽会	月1回の定例会、市民出前講座受講、野外での遊戯的スポーツ、女性部、グラウンドゴルフ部、カラオケ部	小敷谷東部公会堂 グラウンド
畔吉雲雀いきいき クラブ笑楽会	グラウンドゴルフ、カラオケ、定期会合	畔吉ささらの星、 丸山公園
シラコバト団地 白寿会	上平地区自治会連合行事参加協力、上尾いきいきクラブ連行事参加協力、上平いきいき連行事参加協力、団地自治会行事参加協力、白寿会年4回誕生会、毎月団地内清掃奉仕、グラウンドゴルフクラブ、卓球クラブ、麻雀クラブ、カラオケクラブ、趣味の会、月1回会報配布、会員見守り	しらこぼと団地集 会所
緑丘五丁目西	サロン見守り隊	緑五公民館
富士見一丁目町会	・自主防災会 ・会員交流(夏祭り、秋祭り、もちつき大会) ・サロン ・アッピー体操 ・見守り(高齢者 ・学童) ・安全パトロール ・だんらん	富士見一丁目公民 館、会長宅
三井区竹の会	月1回の定例会として講演会等のアトラクションと食事会	三井区自治会ホー ル
西上尾第二団地 いきいきクラブ	お楽しみ会、花壇の管理(団地ピロティー協)、自治会活動に協力	集会所、花壇
陣屋町内会		上尾市上尾下地域 が主(陣屋公民館)
泉台自治会	各種イベントの開催、みこし巡行、夏祭り、文化祭、大運動会、もちつき大会、お楽しみ会等	記念会館、大石北 小校庭、鴨川公 園、梅田公園等
フィーリア上尾 自治会	・自治会として資源回収活動・自治会として公園清掃 ・サロン活動や見守り活動・フィーリア祭りやクリスマス会など・自治会としての防災訓練	・マンション内施 設 ・地域の施設 (柏座公民館、谷 津公民館、富士見 小学校、西中学校 など) ・市管理施 設(コミュニティ センター、文化セ ンター)
戸崎自治会	自治会活動、児童見守り、年配者サロン活動、地域パトロール	自治会館、戸崎公 園
フードパントリー パブリカ	子育て困窮世帯への食料支援	コミュニティセン ター
井戸木自治会	見守り活動、サロン活動	井戸木記念会館
はらいち五区 いきいきクラブ	会員の親睦 ・懇親のための活動(いきいきサロン、スポーツ等行事)	原市五区公民館
平方新田自治会	地域イベント(祭り等)の開催、サロン活動、リサイクル活動、防災活動等	新田地区内、新田 集落センター
小泉自治会	自治会活動、自主防災活動	小泉集会所

団体名称	活動内容	活動拠点
上尾市手話通訳問題研究会	上尾市聴覚障害者協会と共に、例会を開催し、きこえない人から、手話やきこえない人の暮らしを学ぶ活動。きこえない人と共に、福祉制度や広く社会のことについて学ぶ活動。学んだことを、手話講習会や手話教室などで市民に啓発する活動	三井金属あげおコミュニティセンター、あげお富士住建ホール、上尾公民館
平方南地区自治会	見守り活動も兼ねて、社協と協力して敬老記念品やカレンダーの配布。新年交流会やみんなの集い、お祭り等の実施。お年寄りとこどもの交流を兼ねてラジオ体操の共同開催（いきいきクラブ）等	平方南集落センター
ふれあい電話	高齢者、障害のある方に電話をかけ、お話し相手をする傾聴ボランティア活動	ボランティアビューロー
みどりフードパントリー上尾	貧困家庭の子育て応援として、食料品等の無料配分活動	緑丘公民館
下組自治会	サロン活動、ふれあい農園、アッピー元気体操	下組自治会公民館、公民館前畑
サニータウン永楽会	定例会（情報交換・懇談・歌・会員のお話）食事会日帰り研修旅行市・大石連合会の行事支援	サニータウン集会場
小泉寿楽会	健康活動他	自治会集会所、氷川山公園
いきいきクラブ上宿たちばな会	仲間活動を通じて地域の会員福祉、健康保持に関すること及び諸団体と共同し地域を豊かにする社会活動。上尾市いきいきクラブ連合会の行う事業に参加。慰安及びスポーツ並びにレクリエーションその他の目的達成に必要とする事業	上宿公民館
緑丘五丁目町内会	三大イベント（盆踊り大会、敬老会、ふるさと祭り）開催。団らんの家、自主防災会、リサイクル活動、清掃活動実施。アッピー元気体操、緑五サロン、緑五アンアン隊、いきいきクラブ、町内運動クラブ、子ども会支援。	緑丘五丁目公民館（緑丘公園内）
三井区自治会	見守り、防災、防犯、環境維持、交流活動	みついホール（自治会館）
畔吉東部自治会	会員とのコミュニケーション、敬老会、秋祭りの実施、サロン活動、お楽しみサロン会、映画会、防犯パトロール。公園除草、リサイクル活動など。*活動年数について、6年とあるのは、畔吉東部自治会として6年。それ以前は、畔吉東部区であった（区長制度の時点）	畔吉集会所、畔吉東部地域内
上平塚自治会	リサイクル事業、環境美化活動、自主防災会、敬老事業（記念品の配布）	上平塚区民センター
東町町内会	諸行事（運動会、夏祭り、盆踊り、敬老祝賀会など）の開催。回覧物の配布*地域公民館、東町公園の管理。毎月1回の地域リサイクルなど	地域公民館
はらいち台自治会	はらいち台自治会は、沼南駅の北側に位置し、会員の相互利益、親睦と文化の向上を計り生活環境のよい地域をつくることを目的に、1. 施設・環境の整備改善、2. 会員の親睦（秋祭り、通いの場、作品展）、3. 厚生（自治会保険加入）4. 会報の発行（月1回・各戸配布）5. サークル活動（10 サークル）の助成を推進しています。私は自治会長として、自治統括員および自主防災会会長を兼務し、会務を統括しています。	はらいち台自治会館
上尾丸山団地自治会	サロン活動。団らんの家。団地内清掃。防災訓練。ふれあいの集い	上尾丸山団地集会所

団体名称	活動内容	活動拠点
領家東部自治会	上尾クリーン運動。夏祭り。健康ウォーク。青色パトロール。児童通学安全見守り。自転車防犯パトロール	領家農村センター
尾山台団地自治会	・ふれあい喫茶、映画の集い、五月会、秋祭り、花見ウォーキング、健康カフェ・あったか見守り活動・イベント開催（毎月定例開催）オレンジカフェ、シルバー健康体操、はつらつリラク体操、青空ひろば	・尾山台みんなのひろば・尾山台団地集会所
畔吉新田自治会	自治会活動全般。サロン活動、見守り活動、外国籍住民との交流、防犯活動、自主防災活動などなど	畔吉諏訪神社ささらの里、自然学習館
領家西部自治会	自転車パト防犯青パト防犯危険箇所旗振りなど	領家農村センター
新田区自治会	・サロン活動・見守り活動・親睦、交流活動（祭り、スポーツ大会等）・自主防災活動	公民館
須ヶ谷自治会	自治会運営全般	須ヶ谷集落センター
上尾第一団地自治会	・だんらんの家活動・自主防災会活動・自主防犯見守り活動・社会福祉協議会活動	・自治会集会所 ・長浪公園
上新梨子自治会	やすらぎサロン、だんらんの家、いきいきクラブ、アッピー体操	上新梨子集会所
二ツ宮二区	夏祭り、盆踊りによる地域コミュニケーションの向上活動。だんらんの家による高齢者の見守り、安否確認活動。ヨガによるサロン活動。アッピー元気体操活動。低学年児童の下校時見守り活動。防犯パトロールの定期実施による犯罪防止、安心保障活動。防災対応の為、防災訓練による防災啓蒙活動。環境クリーン活動による地域保全活動。	二ツ宮公民館。 二ツ宮中央公園。
柏座三丁目町内会	サロン活動、見守り活動、夏祭り、盆踊り、リサイクル活動、防犯活動、防災活動(自主防災会)	町内会長宅、 柏座公民館

■会員数

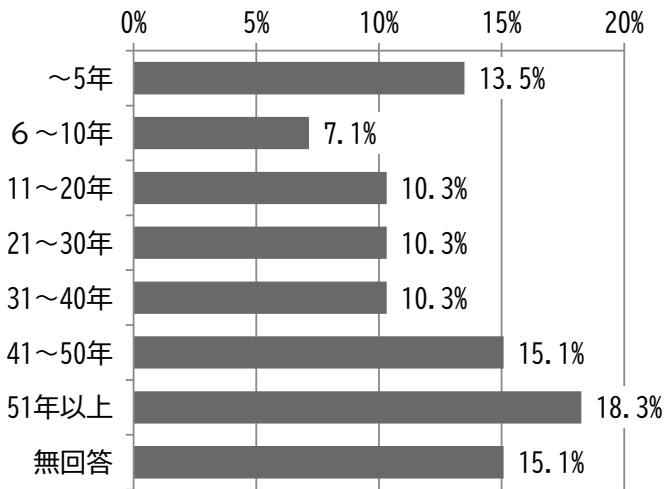
会員数については、「11～50人」が17.5%と最も多く、次いで「501～1,000人」が15.9%、「301～500人」が15.1%となっています。



項目	度数	比率
1～10人	15	11.9%
11～50人	22	17.5%
51～100人	18	14.3%
101～300人	18	14.3%
301～500人	19	15.1%
501～1,000人	20	15.9%
1,001人以上	11	8.7%
無回答	3	2.4%
合計	126	100.0%

■活動年数

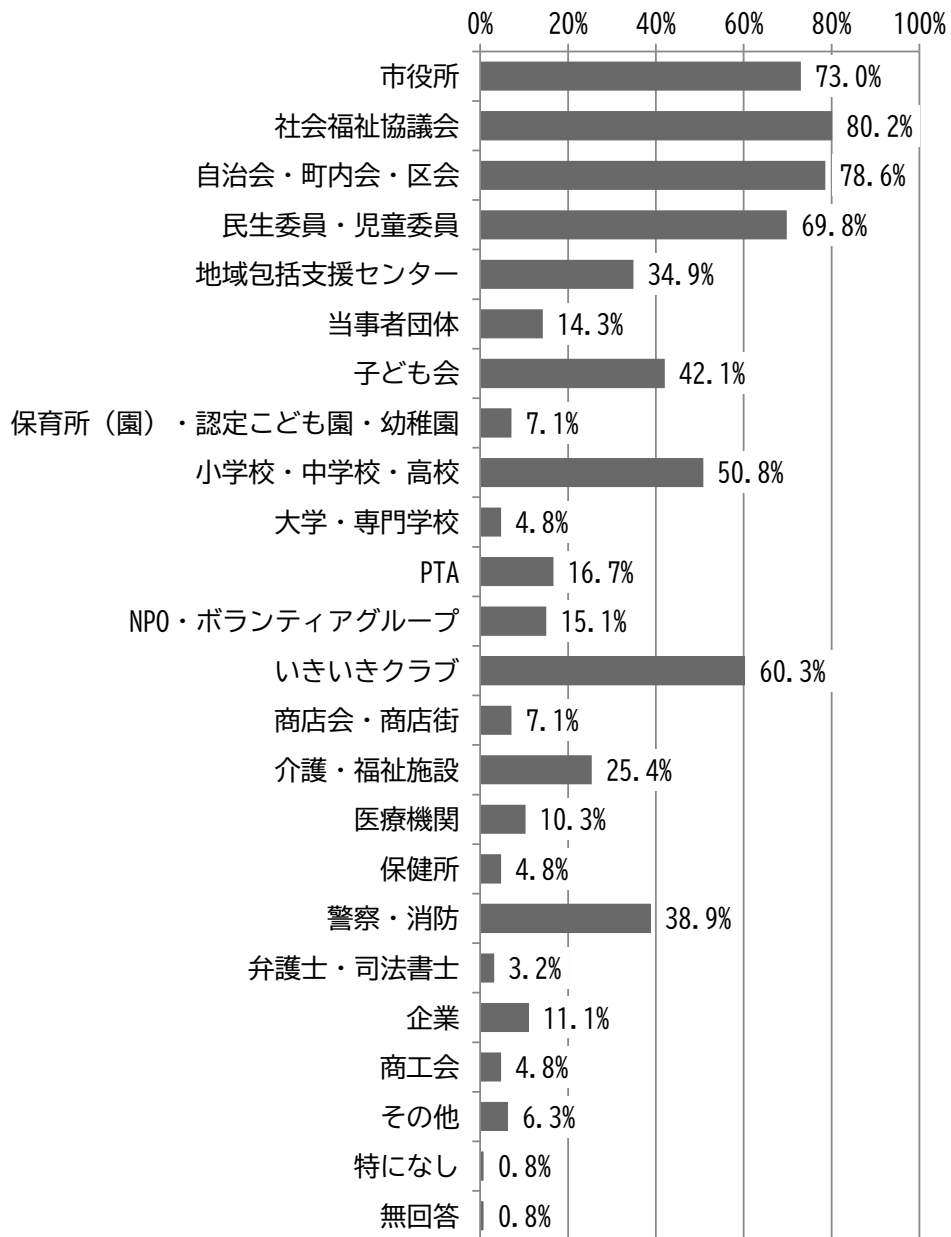
活動年数については、「51年以上」が18.3%と最も多く、次いで「41～50年」が15.1%、「～5年」が13.5%となっています。



項目	度数	比率
～5年	17	13.5%
6～10年	9	7.1%
11～20年	13	10.3%
21～30年	13	10.3%
31～40年	13	10.3%
41～50年	19	15.1%
51年以上	23	18.3%
無回答	19	15.1%
合計	126	100.0%

問2 貴団体では、活動を行う上で地域にある他の団体・機関などとの交流や連携、協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

地域にある他の団体・機関などとの交流や連携、協力関係については、「社会福祉協議会」が80.2%と最も多く、次いで「自治会・町内会・区会」が78.6%、「市役所」が73.0%となっています。



項目	度数	比率
市役所	92	73.0%
社会福祉協議会	101	80.2%
自治会・町内会・区会	99	78.6%
民生委員・児童委員（または主任児童委員）	88	69.8%
地域包括支援センター	44	34.9%
当事者団体（※）	18	14.3%
子ども会	53	42.1%
保育所（園）・認定こども園・幼稚園	9	7.1%
小学校・中学校・高校	64	50.8%
大学・専門学校	6	4.8%
PTA	21	16.7%
NPO・ボランティアグループ	19	15.1%
いきいきクラブ	76	60.3%
商店会・商店街	9	7.1%
介護・福祉施設	32	25.4%
医療機関	13	10.3%
保健所	6	4.8%
警察・消防	49	38.9%
弁護士・司法書士	4	3.2%
企業	14	11.1%
商工会	6	4.8%
その他	8	6.3%
特になし	1	0.8%
無回答	1	0.8%
回答者数	126	

※地域の中には、高齢者、障害者、子ども、子育て中の方など様々な人が暮らしており、それぞれに悩みごとなどを抱えている方がいます。当事者団体は、同じ悩みや問題などを持つ人が集まり、課題解決のための活動や、交流や親睦を深めるための組織のことで。

【「その他」の記述】

- 埼玉県公社(県営住宅)
- 図書館
- ボランティアビューロー
- 市議会議員、市教育センター（2件）
- 埼玉県公園緑地協会上尾運動公園管理事務所、埼玉アイスアリーナ、ホームセンターセキチュー、一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ、アトリエコルト、戸賀崎建設工業、彩の国市民活動サポートセンター、市民活動支援センター(上尾市)
- 埼玉フードパントリーネットワーク
- 商店会は当地区にはないので、各商店と接触している。

問2で「市役所」～「その他」のいずれかを選んだ団体にうかがいます

問2-1 交流や連携、協力関係があると回答した団体・機関などどのような関係がありますか。(具体的に記入)

- 活動内容の共有・活動資金の補助・活動場所の無償貸与。
- 各種(通知・ポスター・アンケート)。1)市役所の対応。2)自治会・町内会・区会。自治会活動・近隣事務区との交流・上平連合会への参加。3)地域包括支援センター。40歳以上64歳までの介護保険対象の人及び65歳以上の人に対して見守り・声かけ家庭訪問等を依頼。4)社会福祉協議会。社会福祉協議会との連携により健康の推進を実施。65歳以上の単身世帯への訪問敬老。5)民生委員・児童委員。事業(75歳以上303名)の実施、シクラメンの配布、各種広報の対応。6)小学校・中学校・高校。7)警察
- 北上尾駅前交番だよりの配布。8)その他。県営住宅(埼玉県公社)との連絡及び調整。
- 自治会行事では民生委員いきいきクラブの方々のご協力をしていただいています。社協と協力しサロン活動も力を入れています。
- 市役所は補助会・自治会は活動費補助・計画・実行・民生委員・見守り・活動補助・イベント計画・準備
- 月一回の自治会連合会など会議の開催。情報共有、意見交換。
- 活動内容の共有。活動資金の補助。市役所→各申請、依頼、請願など。いきいきクラブ→自治会館の提供など。社会福祉協議会→募金、サロン開催の為に自治会館提供など。民生委員→情報交換など。消防→防災訓練の依頼実施。
- 1)機材、備品類の借入 3)事務所の使用(使用料半日250円支払)15)運動、体操の指導 22)紙芝居借用
- 春祈禱祭・秋例大祭・歳旦祭などは畔吉4地区の自治会で協力して行っている。
- 住民からの意見、出前講座、カルタ大会、運動会、こども達の登下校見守り、各種団体の会議、警察(交番だよりの)情報・意見交換
- 補助金を出したり、活動を支援しています。
- 市役所：市の事業に沿った活動…市主催行事への参加、配布物の回覧、ポスター掲示等。自治会・町内会：他自治会、町内会との連携に依る事業計画の作成。社会福祉協議会：高齢化が進み社会福祉的な活動が多くなり、その際の協力要請。警察、消防防災、防犯活動を実施する時の協力要請。
- 自治会連絡会への参加協力(回覧配布など)、社会福祉協議会の役員となり(募金集金、研修会講演会の支援)、自治会(他町内会、自治会、特に上尾西地域での活動協力)、民生委員と連携(町内住民の情報共有)、子ども会(夏祭りなどの協力等)、小学校・中学校(見守り、学校評価委員会への協力、情報誌を回覧へ)、PTA(PTAは廃止されているが、さくら連絡網にて情報共有)、いきいきクラブ(観音堂境内清掃やいきいきクラブ行事に参加)、商店(夏祭り新酒所等の協力)、警察(防犯パトロール、情報誌の回覧、自警消防団への協力)
- 市役所…サロンやアッピー元気体操等への助成金支援・社協…世帯、個人会員加入や各種募金活動への協力・民生・児童委員…高齢世帯の見守り、敬老事業や新年会等の企画参画・子ども会…体育祭、グラウンドゴルフ大会等への参加協力、リサイクル活動の協力・小学校…自主防災訓練やグラウンドゴルフ大会時の校庭使用調整など・いきいきクラブ…クラブの活動支援助成金や活動場所提供支援等・消防…自主防災活動に対する協力(初期消火、AED等の指導)
- 75歳以上の方を対象に敬老会を実施。小学校生徒を対象に登下校の見守り活動。清掃・花いっぱい運動・だんらんの家、等の自治会活動。
- 上平地区自治会連合会との定例会
- 1.市役所…自治会運営 2.社協…「みんなの集い」実施 4.民生委員…75歳以上高齢者見守り 5.アッピー体操、介護施設等の仲介 6.当事者団体…フラダンスグループ(ボランティア)、高齢者イベントへの協力 7.子ども会…様々なイベントへの参加・運営協力 9.小中学校・高校…学校運営協議会、リサイクル 13.いきいきクラブ…高齢者イベントの実施 18.警察・消防…防犯指導・防災訓練
- 自治会長として全てに対応しています。
- 市役所…活動に対して補助金を支給して頂いている。地域包括、福祉施設…高齢者への健康指導・小中学校…児童、生徒の見守り

- 自治会活動を推進する上で交流・連携・協力関係がある。
- 市役所…行政全般に亘る・支援センター…町内住民(高齢者)からの相談事の対応・保健所…高齢者集いの会時に出前講座依頼
- 「誰もが安心して暮らせる地域づくり」が目的。青少年育成活動やコミュニティ活動、安心・安全な地域、地域でこどもを育てる環境づくり。
- 1. 市役所…月一度の回覧資料の受け取り、内容確認 2. 自治会・町内会…統括員との協議 3. 子ども会…各種行事(お祭り、運動会等)の実施 4. 社会福祉協議会…赤い羽根等の募金活動 5. 警察…地域防犯の講義参加 6. 消防…消火訓練、避難訓練の実施
- 自治会主催の防災訓練、餅つき大会、芝浦工大共催の音楽会参加等
- 市役所…各部署より依頼事対応・防災、防犯講座の日程参加依頼…担当者が変わる為、内容が都度変更または継続。引継ぎされていない?
- 子ども会…地域の祭事、防災訓練等への参加要請、登下校時の安全確保・いきいきクラブ…町内行事の手伝い、助け合い愛宕の実施・それぞれの目的を以っての参加団体の意見交換会・住民向け各種講座の開講
- 1. 西門前自治会と当方のいきいきクラブのコラボで年 2 回レクリエーション大会でグラウンドゴルフ大会を開催し、毎回 80 名の参加で実施されました。大人から子どもまでの参加で楽しく交流が出来ました。
- 民生委員から高齢者の情報聴き取り会を開催しています。特にカラオケの希望が多いので、主にカラオケで楽しんでいます。カラオケ嫌いの人用に何か別の楽しめる事を考えています。
- 2. 必要に応じた活動費の支援、訪問先の紹介(大いに助かっている)3. 季節の行事やイベント等に呼んで頂く、活動内容をブログで配信して下さる。
- 社会福祉協議会…出演依頼の仲介、助成金の紹介、ボランティアの紹介・介護、福祉施設…出演依頼
- ボランティアビューローで行う行事「ボランティアまつり」等に参加し、メンバー募集や活動を市民に知ってもらったり体験してもらう事で、市民と交流を図っている。寄付先を紹介してもらったり情報を頂いている。
- 国の政策に老人福祉社会の向上および社会貢献が挙げられています。我々は下部組織にあって地域の高齢者を対象とした仲間たちと集い、1. 健康寿命 2. フレイル対策を軸として、健全な社会・地域貢献に尽力する集団です。行政とは親密な関係にあり相互扶助です。
- 大石自治会連合会による月 1 回定例会で各地区の情報交流を行っている・アッピー元気体操の活動に対して包括支援センターの支援を受けている・リサイクル活動、建築安全について市当局のアドバイスを受けている・子ども会、いきいきクラブを自治会の専門部という位置づけ活動を支援している。
- 小学校、中学校の学校だよりを回覧・包括支援センターとの連携(希望される方への案内等)・町内いきいきクラブの活動への参加(カラオケ、将棋、麻雀等)・社協開催の行事への参加
- 市役所：避難訓練、空き家問題、投票所として自治センターの貸与等
小学校・中学校：挨拶運動、下校時の見守り
民生委員：敬老事業の実施
社協：研修会への参加、催し物への参加
いきいきクラブ：自治センターの清掃作業、レクリエーションへの参加
消防：年 2 回の避難訓練に対する協力
- 介護認定の人は包括支援センターと連絡します。保険(ボランティア)は社会福祉協議会に入っています。いきいきクラブは市役所と連絡します。
- 自治会に役員を送り出している・大石北小まつり等に参加・いきいきクラブ→大石地域いきいきクラブに所属
- 自治会・町内会の行事に参加(盆踊り、健康体操、餅つき大会、医療セミナー、夏祭り他)
- 1 市役所：行政連携協定に基づく業務、情報の入手。2 社会福祉協議会：(役員)情報の入手、各種募金。3 自治会：他の自治会との情報共有。4 民生委員・児童委員：情報共有。9 小学校：登校見守り、行事(卒入学式)への参加。13 いきいきクラブ：補助金支給、行事の共催。18 警察・消防：防犯活動、防火訓練の依頼。
- いきいきクラブ自体が自治会に所属していて相互の連携で動いている。地域の活動は年間事業計画に基づいて運用されている。町内会-地域(大谷地区)-市役所の関連が主となっている。(スプ協、コミ協、自治会との連携)

- 活動の場、運営の助け
- 町内の民生委員との情報で、福祉に対して相談している。
- 小中学校の福祉体験授業への講師派遣
- 1…市民体育祭、市民駅伝大会等、様々な行事・イベントに参加。9…行事の原稿を寄稿してもらい、団地の広報誌に掲載。10…芝浦工業大学と連携したイベント。敬老の日に学生が祝って模擬店を出店など。18…年末夜間パトロールに先立ち警察から振込詐欺、交通状況を話す。消防原市分署からは毎年 11/3 の防災訓練に参加してもらっている。16…団地の見守りをお願いしている。看護学校の防災訓練に参加。
- 自治会諸行事、見守り活動、防災活動、健康増進活動等について協力して実施。
- 様々な事業の共催例：防災訓練→平方分署より派遣、お散歩講座→社協事務局
- 講演依頼や協力依頼をしている。
- 地域の児童、生徒、先生と自治会が協力してぐるっとくん地域巡りを行っている。
- 1. 活動拠点の確保に支援頂いている 2. 活動に必要な情報の提供、及び収集の支援
- 1. 個々の団体が開催する定期総会やイベントに招待したり、されたりの交流。2. 個々の団体が持っている特色や特技のパワーをお借りしたい時。特に社会福祉協議会や民生児童委員や地域包括支援センターの皆様には大変お世話になっている。
- 1. 各種活動における質問や相談に対応している。2. 自治会会員からの相談に対して、市役所担当部署に確認回答する。3. 民生委員からの相談対応や情報交換。4. 「だんらんの家」より活動内容の相談。5. 地域住民からの防犯や盗難発生時の相談。(警察にアドバイスを求める) 6. 自主防災活動に関して、地元消防署に相談する。
- 町内会会場となる広場、集会所の利用・民生委員、集会所開放、だんらんの家に参加。運営について相談している。
- 活動場所が地域の公民館で町内会にはお世話になっている。社会福祉協議会には資金面で相談にのってもらっている。他のこども食堂さんとも食材の譲り合いをしたりする。食材に関しては、野菜市場からのお話を頂き余剰の青果物を提供してもらっている。
- 助成金等の情報を頂いたり、当事者団体にイベントのお知らせをしています。
- 敬老会、敬老祝賀会…高齢者の交流・社協の協力を得て討論、イベント(認知症、ラベンダーの飾り作り等)・リサイクル(月 2 回)、高齢者(ゴミ出しが困難な方)の家にリヤカーで伺いサポート・大谷支所の自治会長会議の資料(社協関連事典)による徹底、お知らせ
- 原市七区は 2 か所でラジオ体操を実施しているが、区長より依頼を受け世話役として親交会員が受けている。・月 1 回落語の会を自治会館で実施している。高齢者が外に出て顔を合わせ話したり笑ってもらう事を考えている。区長と連名で開催している。講談、腹話術等ゲストの 2 人会で。
- 1. いきいき連の行事に対する市の支援 2. 自治会の役員の構成メンバーとして、区のリサイクル支援、区のフェスへの参加を通じて地域との交流を図る。3. 子ども会活動への支援(共同事業を行う)4. 歳末助け合い募金への参加
- 自転車修理対象者(町内会加入者)
- 上尾市のグラウンドゴルフ大会
- 2. 上尾市ボランティア募金助成金の利用…活動「交流会」の会場利用、発刊誌の提供 15. 販売依頼の手伝い…イベントのお誘いへの参加、後援会への入会、発刊誌の提供
- 会員が地域にある団体・関係機関等との交流・連携・協力関係を図り知識の吸収、そして分かち合って楽しく生活して行く為。
- 自治会としてコミ協、社協の活動に協力しています。
- 社会福祉協議会・いきいきクラブ・民生委員：高齢者参加行事には全て協力してもらっている。
- サロン活動の資金の一部として補助金の交付を受けている
- 子ども会、小中学校、PTA はあいさつ運動、青パト、夏祭り等・その他…常に情報交換、及び開催される研修会等に参加
- それぞれが主催する活動に対し、周知・参加者募集、及び運営に協力する体制になっています。
- 1. 活動資金を支援して頂く(市役所、社協、企業) 2. 利用者の生活支援をお願いしている(NPO、弁護士、市議) 3. 自分達の活動を届出ている(保健所) 4. 参加している児童について連携している(小学校) 5. 利用者を繋いでもらっている(教育センター、民生委員)
- 1. 活動資金を頂いている(市役所、社協、企業) 2. 利用者の生活支援(NPO、弁護士、市会議員) 3. 利用者を紹介してもらっている(市役所、教育センター)

- 市役所、社会福祉協議会では活動の趣旨にご理解頂き、チラシでの周知や助成金のご案内、主催イベントにお誘い、参加等のかたちで連携しております。大学には2校ボランティア情報をご案内しています。NPO 法人彩の子ネットワーク様には立ち上げ時、相談や”あそぼうよ”でのイベントとしての場所として活用して頂きました。消防には公園内でたき火体験を行う際の届出書提出を通し、活動に理解を頂いております。また、使用している公園の管理者が埼玉県公園緑地協会であり、アイスアリーナ様からはスケートリンク製氷後の雪を頂き遊びに使用しています。ホームセンターセキチュー様からはイベント(段ボール遊び)の際に使用する段ボールを寄付頂いております。アトリエコルト様からは活動の相談や物品の寄付を頂き、チラシも置かせていただいています。戸賀崎建設工業様より、木工作に使う木片等を必要に応じて頂いております。彩の国市民活動サポートセンターは立ち上げ時の相談やイベントを県民活動センターで行うなどしました。
- 市役所…高齢介護課から支援・地域自治会から支援・地域いきいきクラブへの協力
- パフォーマンス提供時のアドバイス、スケジュール調整等で協力頂いています。
- おしゃべりプラザ…自治会役員は会場準備(机、椅子、お茶)。民生委員は日々の活動内容設定。ふれあいカフェ…カレー、ケーキ、飲み物を提供。地域の方に喜んでもらう。自治会役員男性はホール担当。民生委員は会場での注文整理。一般の方はカレー作り。交流会…70歳以上単身者対象→自治会役員、民生委員、いきいきクラブ・小さなお助け会…民生委員から情報収集。自治会役員(男子)が依頼先の確認。出来るものは実施する。
- 町内活動への応援・協力・町内の人々などに団体からの内容説明など・定期的な活動紙等の回覧など
- 民生委員さんとサロン活動等で状況の把握や情報交換・社協との懇談会、講座の誘致・いきいきクラブさん、活動サポート(活動費の支給など)
- カラオケは15人程度、男女共80歳(平均)で毎週参加者は5~8人程度。グラウンドゴルフは、名簿は15人であるが参加者は10人程度。上尾連合会への参加は2~3人。年齢も平均80歳以上で、参加者は年々減少傾向である。
- 1. 市役所…高齢介護課による活動会場の確保、文化センターの会場予約 2. 包括支援センター…講師の紹介(理学療法士等)、会員の仲介
- 1. いきいき連として高齢介護課とのつながり 3. 自治会(区会)、公共の親組織として事業等への積極参加。持ちつ持たれつで。4. 民生委員さんの家庭状況等により、ひきこもりを無くすべく入会を呼びかけ。7/9/15. 私達が主催する文化祭に子ども会、小学校、介護福祉施設に出店の呼びかけ。文化祭の観覧で楽しんでおります。
- 3. リサイクル活動への参加、各茶会時の招待 5. 各情報交換会、活動の方向性等アドバイス 6. 大石、上尾いきいき連合会との交流・意見交換会
- 市助成金交付を受けている。団地自治会助成金交付を受けている。行事参加協力。上部いきいき連行事参加協力。
- 町内会の一部に入り、会員の中に民生委員等在籍している
- 情報交換・補助金・活動支援(学習・イベント)・共催事業(夏祭り・秋祭り・花祭り・もちつき大会)・防災事業・見守り(高齢者・学童)・映画会。
- ①講演会(出前講座)等の依頼 ②総会等への出席 ③資金支援 ④自治会の会合での同席 ⑤自治会の子ども会行事への支援
- ①平方地区連合会を通して、市高齢介護課(いきいきクラブ連合会事務局)と情報の交換、行事参加など ②運動会・防災訓練・オクムフェスタにスタッフ協力
- 地域高齢者と月一回の懇親会実施に伴い、社会福祉協議会・地域包括支援センターのご担当者の皆さんにも声掛け、出席願い、一緒にゲーム、体操、唄等を楽しみ会食を実施。地元にあるNPO 法人(すみれホーム)と打ち合わせ会を実施。警察・消防署に依頼し、定期的に講習会を実施。
- 日々の自治会活動で対応を連携している
- 地域の安全確保(市役所)。地区社会福祉協議会(サポートセンター)。安全協会。子ども会。
- フードドライブ品や配布品の受け取りを社協から。経済困窮世帯の紹介を、市役所から受けている。
- 見守り活動の中で、各種団体の講演や協力を仰いでいる。
- 1. 市役所。助成金受領、地域いきいきクラブを通じた、各種行事への参加。2. 社会福祉協議会事業への協力等。3. 町内会助成金受領、各種行事に関する相互の協力。

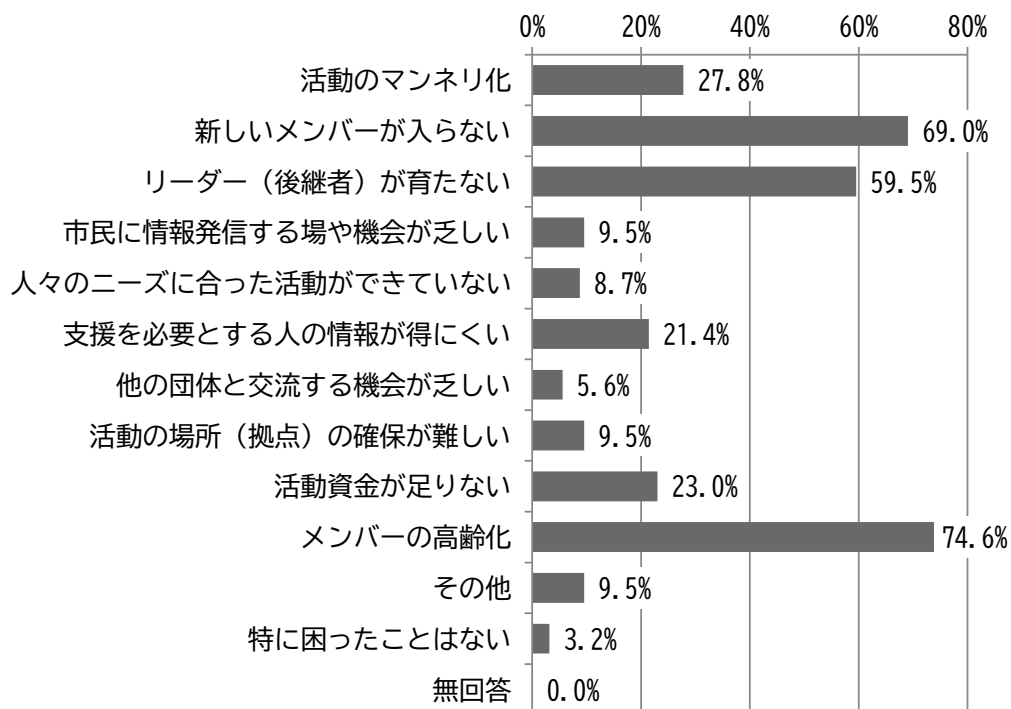
- 市役所関連は連合会関連や平方地区のイベント取組み等がかかわりがあります。子ども会・いきいき等とは地区内の取組み時に共同で取り組んでいます。又、社協からはサロン活動等において支援を頂いています。
- 市役所各部署と連携。社会福祉協議会大石東支部定例会。大石自治会連合会定例会。大石自主防災会定例会。大石小学校、西小学校避難所運営会議。西中学校生徒指導連絡協議会。ころぼつくる保育園防災協定。
- 市役所：年に1回懇談会を開催。手話講習会の開催で連携。社協：手話通訳者派遣事務所がある。当事者団体：上尾市聴覚障害者協会：市への要望や手話講習会の開催等で連携。
- 小学校・地域のこどもは地域で育てるという小学校のテーマに合わせ、奉仕活動への参加
- いきいきクラブ・こどもとお年寄りが顔見知りになり、お互いに声かけできるようになることを目指してラジオ体操の共同開催。消防、自主防災会・地域住民の集まる場所の提供（みんなの集い、各種お祭り）等の実施。自主防災会、消防との協力の下防犯、防災、救命等の勉強会の実施。
- 対象になる利用者の紹介。利用者で2ヶ月以上連絡が取れない場合は、状況確認をお願いしています。
- 色々な所から寄付頂いた食料品等の提供。助成金の支援や情報支援。対象者等の情報支援等。
- アップ元気体操に於いてフレイル予防等に関し、社会福祉協議会、包括支援センターの講演、実技指導
- 市役所（市連合会の事務局として講演依頼）。社協（大石西社協に役員派遣）。包括支援センター（講演依頼）民生委員（情報交換）。いきいきクラブ（1構成組織）。
- 上部団体。関連団体。
- 地区の集会所(上宿公民館)を借りて定期的に集会等の実施。上尾市いきいきクラブ連合会との連携
- 三大イベントへの協力、交流、参加。自主防災訓練への協力、講師派遣。民生委員・児童委員や防犯推進委員、環境美化推進員、明るい選挙推進員等の推薦。
- 各種問い合わせ、相談、活動支援。
- 情報交換、相談など。例えば、市役所：自治会活動に対する支援。子ども会：地域活動に対してのお互いの情報交換。社協：サロン事業の援助。民生委員：一人暮らし高齢者の支援。企業：賛助会員としての相互の取り組み。
- 自治会各種事業への協力
- 市役所：月1回の自治会連絡会に参加、依頼に基づき各種委員等の推薦など。社会福祉協議会：各種募金に協力、支部社協に属し各種の活動。民生委員：敬老祝賀会、草もち交流会など連携して開催。子ども会：行事の手伝いを依頼。いきいきクラブ：行事の手伝いを依頼、情報交換。小中学校：会報を回覧する。
- 定期会議、不定期の情報交換を関係団体・関係機関と行っています。また、当事者団体間では、お祭り、盆踊り、フェスタなどのイベントを通じて交流を行っています。
- 野良猫が増えて困っていたところ、アニマルエイドや、動物愛護団体の協力で、TNR活動を進めている。サロン活動で、上尾市消防平方分署長をお招きし、防災講和をいただき、防災意識を高めた。ふれあいの集いに、障害者施設「あらぐさ」に出店を依頼し販売をしてもらっている。今年度は、「小麦の奴隷」のパンも出店してもらう予定。
- イベントなどで警察・消防に入ってもらっている。
- 行事開催ごとに通知を出し、参加いただいたり、協力をお願い。
- 見守り支援等の方法の学習、各種資料等の提供、地区内主催事業への参加協力の依頼。
- 領工会祭りに参加。子ども会の各行事に参加。学校防犯パトロールや交通安全活動参加。
- 専門家による指導・活動運営の協力・参加協力。
- 関係団体からの回覧板を通じての諸連絡（基本的に受け身）
- 1.市役所：各種交付金によるだんらんの家・自主防災会活動の援助。1.市役所：空き家の植木管理等を持主に伝え対応を図る。2.社会福祉協議会/3.自治会等：回覧による情報伝達。4.民生委員：高齢者の見守り共働。13.いきいきクラブ：だんらんの家活用のメイン活動。18.消防：自主防災訓練の指導協力。
- 地域包括センターを主に健康相談、老人介護、老人ホームの入居から子育てに関する相談をしている。地域活動をお願いする場合に講師やボランティア団体を紹介してもらい、地域の活動に生かしている。その中で講演会などに防犯、防災、懇親会、カラオケ、健康体操などを計画

している。

- 夏祭りに地域企業より、協賛金及び協力人員補助等協力頂いている。災害時、支援を必要としている人の把握等市と連携して、事前確認し、民生委員・児童委員とも共有し、日常の外からの見守りに協力している。サロン活動にては社協との連携にて、フレイル予防の啓蒙活動も実施。
- 連携を取って地域活動に貢献する。

問3 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

活動を行う上で困っていることについては、「メンバーの高齢化」が74.6%と最も多く、次いで「新しいメンバーが入らない」が69.0%、「リーダー（後継者）が育たない」が59.5%となっています。



項目	度数	比率
活動のマンネリ化	35	27.8%
新しいメンバーが入らない	87	69.0%
リーダー（後継者）が育たない	75	59.5%
市民に情報発信する場や機会が乏しい	12	9.5%
人々のニーズに合った活動ができていない	11	8.7%
支援を必要とする人の情報が得にくい	27	21.4%
他の団体と交流する機会が乏しい	7	5.6%
活動の場所（拠点）の確保が難しい	12	9.5%
活動資金が足りない	29	23.0%
メンバーの高齢化	94	74.6%
その他	12	9.5%
特に困ったことはない	4	3.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	126	

【「その他」の記述】

- 高齢化、こどもが少ない。
- 就労年齢のアップ
- 自治会活動に参加しない。
- 楽しみたいが、自分は役員なのでダメ。
- 夕食の事で辛い子がいたら、その子に来て欲しい。
- 行政側からの支援が少ない。(2件)
- 詐欺、迷惑電話の増加
- 食料品等の保管場所
- 昭和40年代半ばから短期間で開発された地区で75才以上の世帯が非常に多く、壮年世代への円滑な代替わりが課題。
- 若い人に魅力的に映らない。
- 市街化調整区域内の為、転入者が少なく発展しない。

問3で「活動のマンネリ化」から「その他」のいずれかを選んだ団体にうかがいます

問3-1 問3で挙げた課題解決のためには何が必要だと感じますか。(具体的に記入)

- 広報活動
- 1)新しいメンバーが入らない。2)リーダー(後継者)が育たない。3)メンバーの高齢化。1)建替の予定が計画されているため、新規入居者がいない。2)3)団地の活動年数が56年経過し少子高齢化が進んだ。75歳以上の方が380世帯に303名である。
- 高齢者への参加呼びかけ・参加しやすい環境整備
- 新しい人に会に加入してもらう。
- 高齢者の自治会退会も増えている。班長が出来ない、病気の為、体力が無い等。自治会が本当に必要なのかと思う。
- 行政からの補助金のアップ。他団体の活動内容を具体的に知りたい。積極的な参画の為の方策。
- 若い人は働いているので難しい。
- 地域の交流が少ない。目を向けない、自分主義。
- 若い人に役員等になってもらいたい。
- 若い人達が自治会活動になかなか参加しない。高齢化で役員が不足。若い人達が自治会に興味を持ってくれる様な活動紹介を市からの援助で検討したい。小学校、中学校との連携強化。
- 良案は無いので個人的ネットワークに頼るしかないか。
- 若い人が入りやすい事業の検討(親子参加型事業)。活動の紹介PRと新規参加者募集案内作り。住民からの要望、意見の聞き取りを実施する。
- 地域の活動に関心が出る様な取り組みが必要。高齢であっても、過去には地域活動をされて育っている為、実情を踏まえ考えるべき時だ。
- 見守りの高齢化により人数減で成り立たなくなる。市からの補助金によりシルバーにお願いしたい。
- 1.若い住民の増加 2.公共交通の充実→調整区域の見直し
- 後継者がいない、が全てです。
- リーダーの研修会等、実施して頂きたい。
- 見守り活動→担い手の高齢化の為、人が不足している。(余裕のある高齢者がいない)自主防災→担い手の高齢化の為、80代以上の方が役員をしている(若い人は忙しい為、無理)。アツピー体操→リーダーが高齢他の為、継続が厳しい状況基本的には社会の仕組みが変更して65歳以上の年金をもらっている人達が仕事を続けている。75歳まで働くという方も多く、社会活動に参加するつもりが無い。→社会システムの変更が無ければ課題解決は不可能?
- 地域住民のニーズに合った活動を推進する。
- それが知りたい。
- 青少年や現役世代が地域に関心を持つ機会づくり、高齢者向けの移動サポート

- 活動に参加する人は限られている。若い人への啓蒙活動。リーダーは中学生、高校生からも少人数選ぶ。公民館を若者が集う場所とする。特にこども。メンバーの高齢化はいかんともしがたい。
- 全てに於いてなかなか難しいものです。
- メンバーが固定されてしまう。自治会役員のなり手がいない。高齢化。月 2~3 回、自治会活動に参加する事が負担に思う。自治会活動が楽しい仲間であれば楽しみになるのですか？
- 向こう三軒両隣という最小単位のコミュニティが崩壊している。定年延長によりリタイアした後の社会活動に身を置くより自分の為の時間を持ちたい。※守るべき為の個人情報ネックになり入り込めない。
- メンバーの高齢化により会員の退会が発生した。会員増強の為、口コミにより新しく入会されるようにグラウンドゴルフ、カラオケ等の場所で見学をしてもらったりしています。
- 当自治会は外国人と高齢者が多く、若い人の参加が少ない。いつまで今の様な活動が出来るかが今後の課題です。
- 2. メンバー募集の方法がよく分からない。
- 太鼓の練習をする場所が少ないので、市に防音の施設を作ってもらう為の働きかけをする。現在、空いてる民間の場所(施設)等を探す。(休日など使用していない施設や会社等の開放)
- 寄付先を違う施設に変えてみる。
- 会員資格は 60 歳以上が対象。現在、平均は 80 代が殆ど。若年層(60~70 代)の入会が昨今難しい理由…1. 定年の延長化 2. 高齢就業者、働き手が増加 3. 60~70 代は老人とっていない 4. 趣味が多様化、集団より個人の趣味が増えるリーダー後継者が無く育成が困難。従って現リーダーは永年継続。現リーダーが病気・死亡の際は集団(クラブ)が消滅。リーダーが高齢化で進化する IT に追いつけない。
- 役員を引き受ける動機付けとなる役員報酬の支払が必要。自治会費で上記を賄うと大中な会費アップとなるので不可。市からの自治会支援金アップを望む。
- 町内会の必要性を感じていない人が増えている。災害時等、協力が必要である事を理解してほしい。町内会への加入、活動の参加に繋がる様な市からの呼びかけ。
- 町内会・自治会に対する意識の変革。役の押しつけだけではない。自由に参加出来る集団としての存在をアピールしていく。
- いきいきクラブの場合、新しいメンバーが入らない為、平均年齢が高くなります。年齢が高くなると次のリーダーがいません。
- 自分達の努力
- 特にリーダーの後継者が育たない。旧来の古い習慣や昔話等が多く、現代の社会情勢に合わない事も多い。会員の意見をよく聞き改善したいと考えています。
- 自治会の魅力作り。若い人(特に母親)への魅力ある情報の発信と行事の開催。自治会役員に若い世代の参加。個人情報のある程度の開示。
- 現在の会員の協力が必要だが高齢者が多く、また新しい人が入ってこない為、次の人が育たない。お金で解決される問題ではないが、この頃の老人は食う為に働かざるを得ない。楽しんでいる場合ではない。
- 市民の関心
- 町内会においては、ゴミ出し問題が多い。また、三役等の役員をやる人がなかなかいない事。市からの要請が多く困っている。(選挙立会人、小中学校の運営委員、国勢調査員、民生委員等)受ける人が居ないので、この場合は市として公募し集めてもらいたいです。
- 新会員の確保…育児・家事や仕事を離れた中高年が望ましい。
- 全会員を対象とした PR 活動
- マンパワーに関する情報の蓄積、世代間交流に基づく企画
- 若い人の協力、参加率の向上に向けた活動をしているが、回覧板とか PR 板(掲示板)では協力の向上に結び付かない。
- 自治会会長の行事、集会を少なくする。
- 1. 認知症の症状を理解し、お互いに助け合う事を広める 2. 地域で活動する年代が高齢であり、次世代に引き継ぐ事 3. 医療機関等で認知症の人とご家族が困っている時に情報提供(活動のチラシ等)されると良い。
- 年齢を問わず地域活動に興味を持てるような体験型イベント(例：防災・減災に関する身近な啓発活動など)を継続して実施する。

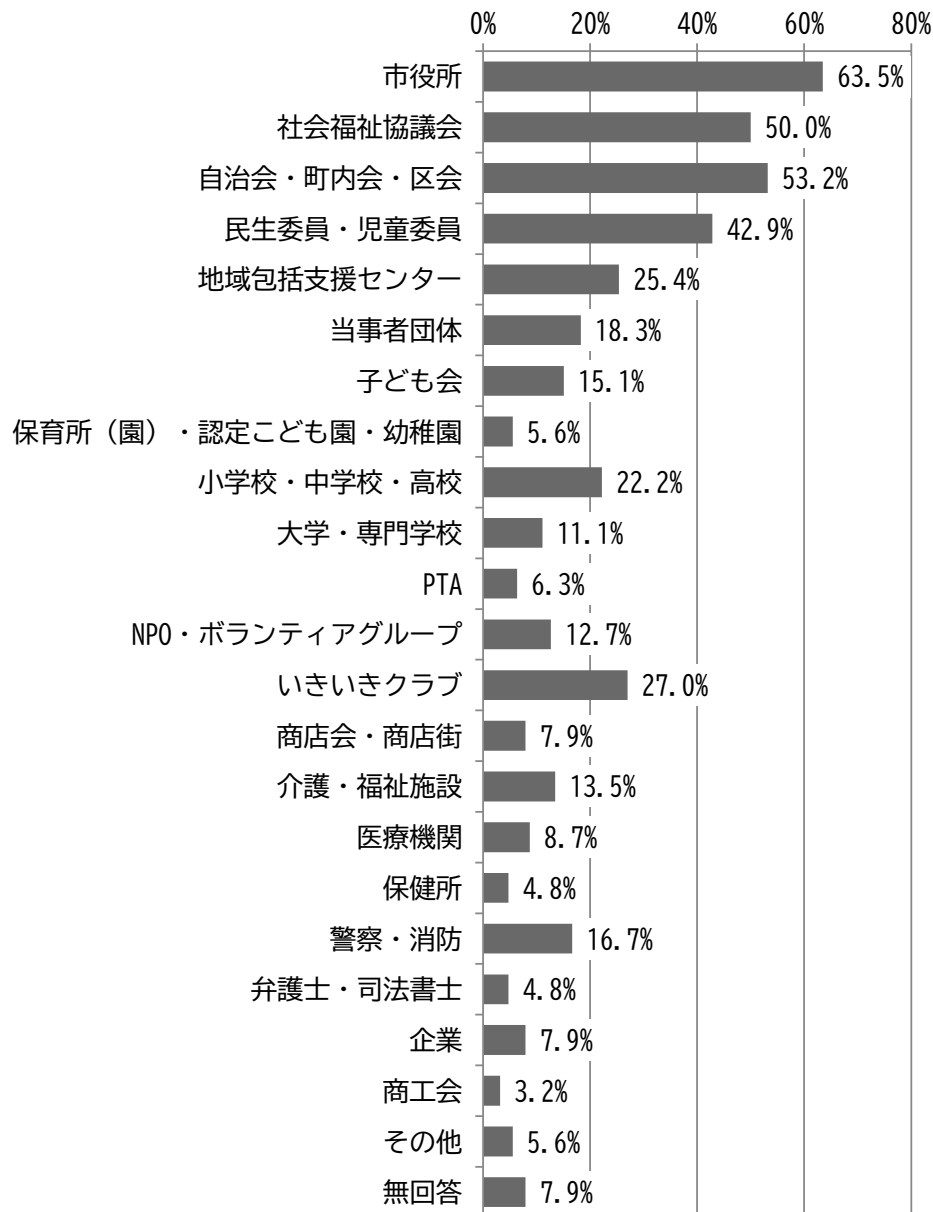
- 1. 活動する上では幅広い世代の参加が必要ですが、現実には高齢者が殆どの為、若い世代の方の参加への取組み。2. 情報提供の多様化を考えているが、高齢者世代の方々のインターネット環境整備が難しく、どうしても紙ベースの「回覧」等になってしまう。環境整備の為の資金援助が必要。
- 会員が年々高齢化している。60歳代のメンバーから敬遠される傾向がある。
- 来て欲しい子ども達に気軽に来てもらいたい。その為に学校の先生や市の子ども支援課の職員の皆さんの声掛けも有難いと思う。その為に子ども食堂を見に来て欲しい。知って欲しい。
- 上尾市内で決めた場所で行いたいが、予約が取れない事もある。優先も難しいと思うので、どうすれば解決するかは分からない。
- 班長の若手に積極的に、計画的に育成を図っていく。研修や見学。
- 高齢化(平均年齢 82 歳)により病気で亡くなる。フレイル、施設入所死亡が新メンバーよりも多くギリ貧状態です。区長も前向きで広報誌による勧誘しているが反応が薄い。個々人による勧誘が一番有効と考えている。
- 市の交付金の増額…会員数に応じての増額、特に近年の物価上昇で何を企画しても資金の不足がある。
- 5~6年前は定年 65 歳であったが、現状は 70 過ぎまで働く為、リタイアした時点で 72~73 歳になっており、体力的に町内活動が難しくなっている。
- 高齢化なので歩行が困難。出掛ける足が無い。
- 会員の高齢と会員数 7 名の為、今は出来る範囲で活動しています。1 対 1 の活動が多い為、他の団体の参加や 1 回限りの参加は難しいと思われます。私達はいつか出来なくなる時が来ると思っています。それまで活動をしていこうと思います。
- 1. リーダー(後継者)のお願いする人達が必要 2. 活動する場所の確保が出来る様にして頂きたい 3. 活動資金の増額して頂きたい
- 少子高齢化によりリーダーになる人がいない為、一度リーダーになると抜けられない。新しい活動を提案しても参加者が少なく、活動に繋がらない。メンバーが 70 代~80 代では活動が続けられない。
- 積極的な情報発信を続けるしかない。行事開催時、自宅まで迎えに行く方法も有るが人手が無い。
- 高齢化が進み過ぎ、体力があり自治会活動に対する意欲のある住民が非常に限られてしまっている。プライバシーによる制限が障害となって、個人情報等の情報が得られず組織的な活動が出来ない。
- 支援するメンバーが高齢化しており、若い(中学生、高校生)にも参加してもらう機会を作る。
- 問題点として、新しいメンバーが入らない。及びメンバーの高齢化です。当クラブ(緑丘 1~4 丁目合同)では会員の増加の為にグラウンドゴルフ、サロン、合唱、旅行等で勧誘しています。しかしながら、合唱で新参加者が 6 名と増えたのですが、いきいき会員に入会された方は 2 名だけでした。今後の課題となっています。
- 参加したくなるような催しの立案・実施。世代ごとの催し…子ども、親、老人と全体の行事を開催し、親睦と協力体制を確立したい。
- 1. 行政側で公的な場所(市や地域の公民館、集会所)を子ども食堂で使える様な働きかけが必要。 2. 安定した資金援助の仕組みが必要。
- 1. 行政側で空き家利用等、活動の場を広げる工夫が必要 2. 行政側で安定した資金援助の仕組みを作って欲しい。
- 新しいメンバー(高齢者層)と関わりを持ちづらいう事、メンバーの年齢層が近い為、市であったり多世代が集うようなイベントで運営募集の周知が出来ればと思います。4. 市報に掲載頂けると有難いです。市が主催するイベント等あれば参加させて頂きたいです。7. イベント出店時、他団体と少し挨拶を交わす事は可能ですが時間も限られている為、交流会等を設けたり、上尾市としての街づくりに関わるネットワーク(子ども食堂、プレーパーク、学習支援等)の横のつながりが持てたらと思います。9. に関しては助成金を主な資金源にしている為、そちらに割く時間も多く、安定して継続した活動にしていくためには居場所作り事業として市から予算として頂いたり、ゆくゆくは委託事業として活動できる様になればと考えています。そのために団体としては実績を積み重ね、誰にとっても信頼できる団体になるべく尽くして予定であります。

- 今まで多少増えたメンバーについては口コミで直に誘った人達だけなので、市や社会福祉協議会等で人員募集をしてほしい。傾聴の講座を受けて、その資格がある事が必須ではない。高齢者の方達とのお話し相手となるだけという事をもっとアピールしてほしい。
- 新しいメンバーが入らない為、活動に新鮮さが無い。入会者を増やすための解決策が分からない。何が必要か教えて欲しい。
- リーダー、メンバーの適任者に関する情報が入りにくい。
- 若い人を町内活動に参加させる機会を増やす。
- 自治会(町内会)に行政は依存し過ぎだと感じます。民生委員、福祉委員、補導委員、国勢調査等、(そうではないかもしれないが)安易にメンバーの記入を求めてくる(実態はやってくれる人はほぼいない)。上記の様な事で「町内会は大変だ」という理由で、人探しはしなくないが、人が入らない。働いてる人が会長の活動を出来る環境づくり(平日の昼間に活動出来ない)。要は毎年現状の繰り返しで、求められても出来ない。脱退・解散も考えざる得ない。
- 高齢化の進み方が早い。また令和3年団以降、コロナにより退会者が多く一度に30名程退会后、入会者が少ない。
- 9.活動資金が足りない…会場費を差し引くと5万円しか使えない。当団体は65名います。人数に合った活動費が欲しい。(知り合いの団体は会場費無し/20名で10万円)公平性を保つ為に、会場費は全ての会場の負担を市でもってほしい。
- 忘れてしまいそうな災害の教訓を市政出前講座や定例会にて、日頃の住民同士のつながり、コミュニティで発信・話し合っています。自治会など入会しない家庭が多くなっている。「災害は忘れた頃にやってくる」こういう意識を伝えていかねばと思っています。
- 新しいメンバーが入らない。会員増にむけた具体的な施策が無い為、常に同メンバーでの活動。その為、マンネリ化、リーダーが育たない状況です。いかに会員増に依る活性化が大事であるか。
- 現在、建て替え工事中で若い人達の入居が無い。高齢者(平均84歳)の為、役を受けにくい。
- 退職後に再就職しての年代70代がいても入会して草取り、世相だから、いたしかたない。
- 会員の交流の場作り、イベントに参加してもらい主催者に入ってもらおう(当日でも可)そこから始まると思っています。まず参加してもらうことから。
- ②③⑩会員の平均年齢が84才超で会員63名中、70代以下は11人しかいない。若い会員の入会を目ざす。⑨上尾市からの補助金が60000円で少ない。上尾市いきいき連・大石いきいき連等の上納金が21000円もある。
- ①他クラブの活動を調べて実施できそうなものを取入れたい。⑩新しいメンバーの確保。特に若手の会員
- 今年度初より、町内会をささえる検討委員会が立ち上がり、制度作りを進めている。
- 自治会会員の増強、特に若い世代及び当地区に入居した人の入会が必要。
- 上尾市からの支援など交付金を検討していただきたい。敬老事業における交付金は年々減り続け少しは増えたが再検討していただきたい。どうして上尾市がここまで財政難になってしまったかを検証いただきたい。
- 活動場所を市役所で必ず確保してほしい。特に、公民館が無料または低廉な金額で利用できるようにしてほしい。助成金を充実させて欲しい。
- 現状の問題点を具体的に、関係者同志で、共有し、解決の道筋の発端とする。
- 新しいメンバーが入らない。いきいきクラブ活動の周知、役員等を通じた入会の勧誘。他のいきいきクラブの情報収集。メンバーの高齢化。町内会・役員等を通じた、入会勧誘。
- 若い世代の参加が進むことがこれからの取組み継続には重要。
- 役員のなり手不足。役員の負担軽減措置として事業の削減。回覧板の電子化。自治会費の減額。
- きこえない人・きこえにくい人に対する知識や、手話への理解を広げる。特に若年層へ広げたい。
- 地域の高齢化、定年制の延長により若い人たちの役員メンバーの新規加入がない。リーダーの後継者が育たない。毎年4月が近づくとも各種役員、自治会役員の選任が大変である。
- チラシの配布、広報誌などに掲載、自治会、民生委員、見守り、活動メンバーによる口コミ、新しいメンバー募集に繋がるために、傾聴講座を希望。
- この1年をかけて、若いメンバーを開拓、来年度から引き継ぐ予定です。
- 自治会員へ活動内容の具体的な配信

- 様々なことをやってきたが、課題解決方法は見当たらない。我が団体（いきいきクラブ）について、きれいごとではなく本当に必要性があるのか考えたい。
- 高齢化
- 市役所からの補助金
- 2 市報等で自治会活動の重要性と参加呼びかけが必要。3 イベント等の機会をとらえ声掛け、顔を知るタイミングが重要。8 公民館（私設木造）の耐震・老朽化対策が資金面で困難、市の支援が必要。9 町会費+公民館基金として年間@5,000/世帯を集金しているが今以上にイベント収入を増やす工夫が必要。10 孤独死のリスクや空き家に関する情報を町内会執行部に限って開示してもらう必要あり。
- 自治会がどんな活動をしているか、なぜ存在するかを知ってもらう為、広報活動（三井区だより、会長ニュースレター、HP、LINE）を積極的に行っている。
- 市街化調整区域のため、新しい住宅が建たず、新しい住民が入ってこない、高齢化するばかりで新しい住民を確保したい。
- 昨今、PTAの解散や加入の任意化が進んでいる。子ども会についても同様。町内会にも加入しない人が増えていると感じる。理由としては、加入するメリットがない、多忙や高齢で役員ができないから、とする人が多い。加入を強制することはできないが、やがて町内会の弱体化、コミュニティの希薄化、ひいては住みやすい地域社会に進む気がする。
- 1.退職年令の高齢化で活動期間が短くなり、体力・気力も減退している。2. 壮年世代は男女問わず仕事で、平日日中の時間がない。休日は家族サービス、こどもの世話で体力・気力ともに地域活動・お助け活動を避けている。現状を改善することは非常に難しい。1. 高齢者は健康年齢を高める努力を心がけ、近隣との付き合いを通じて安否確認や見守りを行う。2. イベントは幅広い年令を対象とし家族サービスを補う内容としたい。
- 住民への発信が、ちゃんと届き、住民からの声がちゃんと届く体制整備。ラジオなどを使ったメディア作り。若い人が参加しやすい仕掛けにならないか？Wi-Fiの整備。通信機器は、インフラだと思います。テレビも含めて。
- 若い居住者に関心を持ってもらいたいが、定住化が少なく入れ替えが多い。解決策がなかなか見つからない。
- 極めて小規模な自治会であるために常設の公的な会場がない。空き家を市で借上げてリフォームし地域で利用できるようにしてほしい。
- 自治会役員の輪番制の徹底。一部の人間に役員重複などで負担が片寄っていて、なり手が見つからない。
- 解決は無理でしょう。
- 住民の高齢化に伴い自治会活動参加に厳しい方が多くなっている。企業定年年齢も70歳迄が多くなり自治会運営参加にも厳しい状況で行事等の開催を少なくする事。これは市役所からの依頼等も少なくする事。
- 他地域（全国）の活動好例の紹介。時代に則した活動シフトのアドバイス。
- 地域活動を行うことができる指導者がいない。1. 自治会に加入する意味がなく、加入者が退会していく。2. 新しく転居してきても、自治会に加入しない。3. 地域の高齢者も仕事をしていて、地域活動をする余裕がない。4. 子ども会活動も解散して行っていない。※地域活動が必要だということを意識させないと無理。
- 国の体制に於いて、企業活動に地域貢献活動の項目を追加して、地域活動に参加する従業員に配慮する制度を育児制度と同様に創設する。
- 活動に参加しやすいように組織を柔軟にする。

問3-2 問3で挙げた課題解決のために、どのような機関・団体などと連携したいですか。(あてはまるものすべてに○)

課題解決のために、連携したい機関・団体などについては、「市役所」が63.5%と最も多く、次いで「自治会・町内会・区会」が53.2%、「社会福祉協議会」が50.0%となっています。



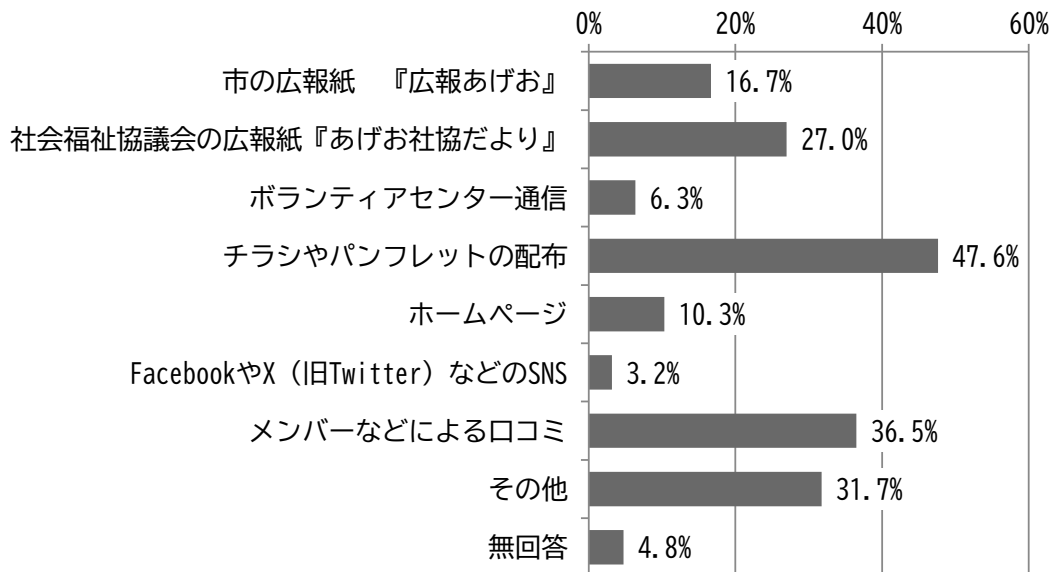
項目	度数	比率
市役所	80	63.5%
社会福祉協議会	63	50.0%
自治会・町内会・区会	67	53.2%
民生委員・児童委員（または主任児童委員）	54	42.9%
地域包括支援センター	32	25.4%
当事者団体	23	18.3%
子ども会	19	15.1%
保育所（園）・認定こども園・幼稚園	7	5.6%
小学校・中学校・高校	28	22.2%
大学・専門学校	14	11.1%
PTA	8	6.3%
NPO・ボランティアグループ	16	12.7%
いきいきクラブ	34	27.0%
商店会・商店街	10	7.9%
介護・福祉施設	17	13.5%
医療機関	11	8.7%
保健所	6	4.8%
警察・消防	21	16.7%
弁護士・司法書士	6	4.8%
企業	10	7.9%
商工会	4	3.2%
その他	7	5.6%
無回答	10	7.9%
回答者数	126	

【「その他」の記述】

- わからない。
- 全体がつながりを持ちましょう。
- 自分たちで解決するしかない。
- 自治会上部団体の活動が平日なので会長のなり手が見つけにくい。
- 県や国

問4 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

団体の活動情報の発信については、「チラシやパンフレットの配布」が47.6%と最も多く、次いで「メンバーなどによる口コミ」が36.5%、「社会福祉協議会の広報紙『あげお社協だより』」が27.0%となっています。



項目	度数	比率
市の広報紙 『広報あげお』	21	16.7%
社会福祉協議会の広報紙『あげお社協だより』	34	27.0%
ボランティアセンター通信	8	6.3%
チラシやパンフレットの配布	60	47.6%
ホームページ	13	10.3%
FacebookやX (旧Twitter) などのSNS	4	3.2%
メンバーなどによる口コミ	46	36.5%
その他	40	31.7%
無回答	6	4.8%
回答者数	126	

【チラシやパンフレットの配布場所】

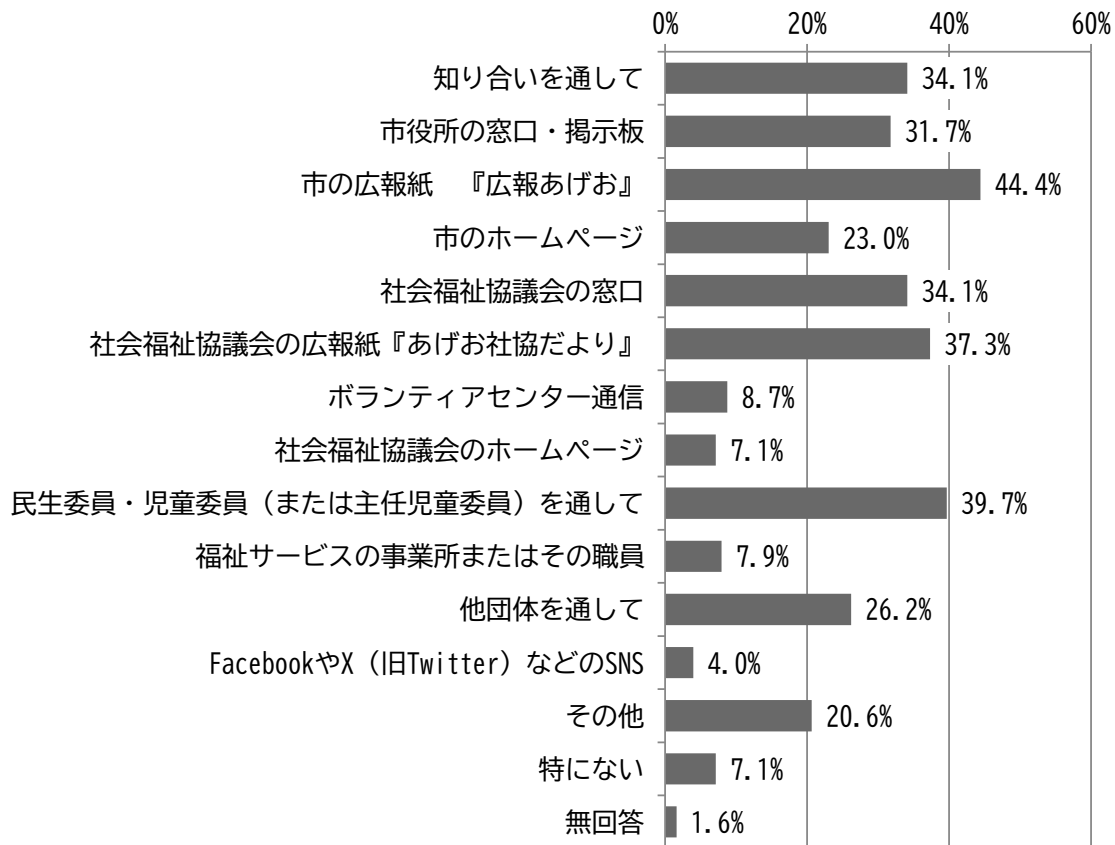
- 自治会活動内容を回覧
- 町会員への回覧
- 区掲示板、全戸回覧板
- 会員宅
- 地区内
- 自治会報告を月1度、回覧・戸別配布も不定期に実施。
- 自治会だより…年6回発行、全戸配布
- 自治センター→副会長→組長→班長→各家庭
- 会員全員
- マンション内掲示板。回覧棚。
- 回覧板、掲示板、会員情報紙
- 160か所ある1階階段下の掲示板に貼る。
- 各班回覧
- 市高齢介護課、地域包括支援センター、社協、市民活動支援センター
- 団地全戸配布
- 班長会で回覧として配布
- 開催場所近隣の小中学校、市こども支援課や社協の広報ラックなど
- 地区班長会議に出席、そして回覧
- 全戸配布
- 各棟にある掲示板
- 市役所、社会福祉協議会、つどいの広場あそぼうよ、三井金属、あげおコミュニティセンター
- 毎月定例会の活動紙
- ボランティアビューローにチラシを設置
- 町内会回覧
- 各会員に
- 各戸配布
- 会員むけ
- 回覧板を使用し、班毎に回覧
- 自治会回覧(2件)
- 市役所、企業のイベント
- 自治会の広報や回覧
- 地域内の回覧
- 自治会広報紙
- 回覧板によるチラシやパンフレットの配布
- イオンモール上尾でのイベント、ボランティア祭りなどの行事、社協窓口など
- いきいき連だより
- 自治会
- 各家庭
- 毎月町内会だよりを発行し加入全世帯に回覧している。
- 回覧板、掲示板
- 自治会加入者で各階段の委員を通じ回覧、団地内掲示板を利用して掲示・周知
- 配布範囲は地区内のみ
- 町内

【「その他」の記述】

- シラコバトかわら版の発行
- 回覧板・民生委員の声掛け
- 2ヶ月に1回の班長会議
- 回覧板(8件)
- 自区の広報誌
- 回覧板、ポスター掲示
- LINE オープンチャット利用による電子回覧板運用(紙ベースとの併用)
- 自治会だよりの発行
- 独自の広報誌、月刊紙
- 機関紙「ふれあい」の発行
- 掲示板
- 月1回の班長会議
- 自治会の回覧にて。会への入会のすすめ。
- 地域への回覧板(月2回程度)
- 町内会の広報で会員募集を行う
- 月一回実施する役員会の実施状況を回覧
- 毎月の自治会定例会にて説明
- 会報の発行・配布
- 上尾市や埼玉県のフードパントリー紹介ホームページ
- 事業の周知の為、自治会の掲示板や集会場の黒板を利用させてもらっている。
- 緑五広報誌、定期開催の理事会(6回/年)、総会(1回/年)、回覧版(1~2回/月、不定期)
- 会長ニュースレター、三井区だよりの回覧、配布
- 自治会加入世帯への「かみひらつか便り」の回覧
- 自治会だより「はらっぱ」を月1回、各戸に配布している。基本はA4サイズ片面、周知事項が多い場合は増頁する
- LINE
- 毎月開催の自治会班長会にて
- 自治会総会
- 町内会の広報誌を毎月発行
- 会報誌の配付
- 無し(3件)

問5 貴団体では、団体の活動に必要な情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

団体の活動に必要な情報の入手経路については、「市の広報紙『広報あげお』」が44.4%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員（または主任児童委員）を通して」が39.7%、「社会福祉協議会の広報紙『あげお社協だより』」が37.3%となっています。



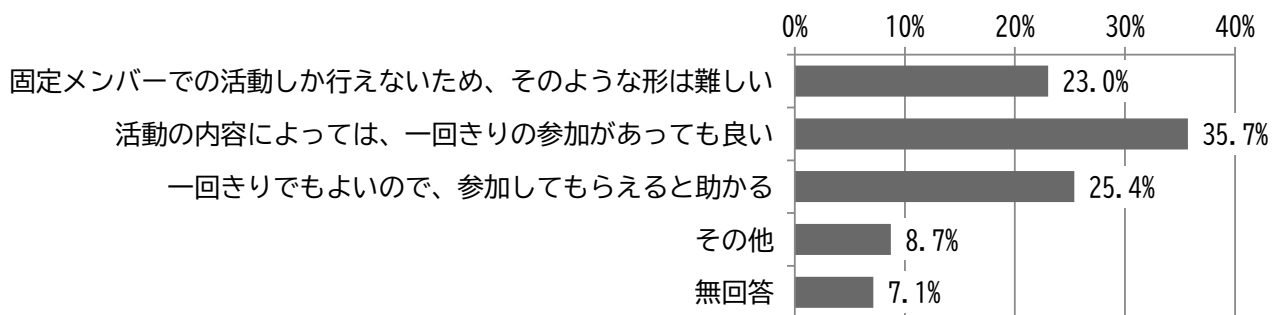
項目	度数	比率
知り合いを通して	43	34.1%
市役所の窓口・掲示板	40	31.7%
市の広報紙『広報あげお』	56	44.4%
市のホームページ	29	23.0%
社会福祉協議会の窓口	43	34.1%
社会福祉協議会の広報紙『あげお社協だより』	47	37.3%
ボランティアセンター通信	11	8.7%
社会福祉協議会のホームページ	9	7.1%
民生委員・児童委員（または主任児童委員）を通して	50	39.7%
福祉サービスの事業所またはその職員	10	7.9%
他団体を通して	33	26.2%
FacebookやX（旧Twitter）などのSNS	5	4.0%
その他	26	20.6%
特になし	9	7.1%
無回答	2	1.6%
回答者数	126	

【「その他」の記述】

- 自治会連絡会、青少年育成第三地区会、社協上尾西支部
- 主に市を通して、または自治会連合会を通して
- いきいきクラブ連盟情報より
- 定期的な社会福祉協議会において
- いきいきクラブの場合、毎月の会長会議で情報を受け取り、その情報を一般会員に知らせる。
- 連合会で実施する会議で配布される情報
- 埼玉フードパントリーネットワーク
- 上平地区自治会連合会の定例会議
- 地区の連合会（旧・区長会）、検索サイト（交通安全・災害対策・健康・保健衛生、インフルエンザ流行状況など）
- 地区の会議等
- 先輩より
- 市の連絡会

問6 市民の方が貴団体の活動に一回だけでも気軽に参加してもらおうことについて、どう考えますか。（ひとつだけ○）

市民の方が活動に一回だけでも気軽に参加してもらえらえると思えることでは、「活動の内容によっては、一回きりの参加があっても良い」が 35.7%と最も多く、次いで「一回きりでもよいので、参加してもらえると助かる」が 25.4%、「固定メンバーでの活動しか行えないため、そのような形は難しい」が 23.0%となっています。



項目	度数	比率
固定メンバーでの活動しか行えないため、そのような形は難しい	29	23.0%
活動の内容によっては、一回きりの参加があっても良い	45	35.7%
一回きりでもよいので、参加してもらえると助かる	32	25.4%
その他	11	8.7%
無回答	9	7.1%
合計	126	100.0%

【「活動の内容によっては、一回きりの参加があっても良い」の内容】

- 参加人数が不足して行事が成り立たない時など
- 他の自治会の状況を聞く事ができる。
- 地域清掃など
- 更なるレベルアップの為
- 文化祭、盆踊り
- 体育祭、敬老会、新年会、各サークル活動
- 年1回の「みんなの集い」のアトラクション参加
- だんらんの家活動
- 活動内容を説明し見学してもらう。
- 編み手として作成して欲しい。
- 避難訓練、納涼祭、こどもの見守り
- 演奏会、敬老会は自治会員以外にも参加を呼びかけている。
- 防災活動、介護予防教室
- この活動に興味があり、本人が立ち上げたい、または私達と一緒にやりたいので、その参考の為の参加なら。
- 当事者の見守り、一緒にゲーム等をする。
- 月1回、盆踊りの練習会をやっている。
- 敬老祝賀会、介護予防教室
- スタッフが少ない時の手伝い
- 仕分け作業、配送作業
- パフォーマンス時の利用者様の見守り、お手伝い等
- 高齢化により人との付き合いが希薄になっている。
- 定例会、出前講座など。スポーツ部への参加。
- イベントのゲスト
- 講演会への参加等
- お楽しみ会
- サロン活動で、興味のあるテーマを行う時。
- パタンク大会、いきいきサロン等の行事
- 各種イベント実行委員会への参加
- 自主防災等の講座
- 手話教室の体験、きこえない人との交流
- 行事でのこどもの参加や市民の勉強会への参加
- 食料品等を取りに行く配送
- 実際の活動が、どのような事を行っているか見学可能である。
- 他地区との交流ができ懇親を図れる。
- サロン事業
- 清掃ボランティア活動、上平地区の体育祭
- 町内リサイクル
- 専門性の高いお助け活動～電動工具を使う作業、電気器具の故障対応（修理関係のアドバイス等）
- こども中心のイベント夏祭りなど
- 自治会未加入であっても参加できる内容（秋祭り等）
- 体験会としての参加
- 夏祭り、盆踊り、見守り活動、リサイクル活動

【「一回きりでもよいので、参加してもらえると助かる」の内容】

- サロン・祭り
- 人数の確保
- 自治会主催の祭り、文化祭、防災訓練
- 1. 下校時の児童見守り 2. リサイクル 3. 各種イベント
- 自治会の祭り、またイベント
- 助け合い愛宕
- 一緒に演技に入ってもらおう。
- 日常活動参加
- イベントのスタッフ
- グラウンドゴルフをやる。
- 祭り等のお手伝いで。
- 小中学校の福祉体験授業
- 秋祭りの設営、サロン参加
- 町内行事多数
- 交流会、講座等
- 見学だけでも良い。
- 認知症への理解を広める。
- 防災・減災・避難訓練
- 各活動への体験参加
- イベント時や企画がある際には勿論、普段のプレーパークの様子を見学してもらえるだけでも有難いです。
- 高齢者の方達とのお話相手として。
- 趣味・特技の披露
- ふれあいカフェ、おしゃべりプラザ
- いきいきクラブの活動状況、会員増の一つの施策
- 町内会行事
- 個人の都合がある為、参加出来る時に参加する事が大事。
- 各種行事
- 町内イベント、清掃活動、自主防災訓練、定期総会
- お祭りなどの支援を一回だけでもやってもらえれば、つながるケースが多い。

【「その他」の記述】

- 自治会活動なので1回きりでも何回でも可。
- 固定メンバーの人間関係が出来ているので難しい面もあるが、時々他の地域の人を呼ぶ事もある。
- ボランティアとしてなら1回の参加もOK。(太鼓の体験なら1回ワークショップに参加してもらう事は可能)
- 「だんらんの家」や「お楽しみ会」は既に参加してもらっている。
- 誘っても来ない。または以前来ていた人も来なくなった。魅力が無くなった？
- できれば多く参加してもらいたい。
- 何回参加しても良いが、真剣に活動に参加して発言にも責任を持つマナーが必要。
- 公民館祭りに参加している機会を通じて参加してもらっている。
- 会員外にも参加を呼びかけているが、参加者がいない。
- こどもが少ない地域であるが、土日での塾やクラブ活動でこどもの参加は厳しい状況。高齢者参加の行事は行われているが、参加者は特定の人が多い。

問7 身近に困っている人がいるとき、貴団体ではどのような手助けができますか、または、やりたいですか。(具体的に記入)

- 声かけ、他団体への連絡等
- 月1回の各棟の集まりをお願いしています。
- 声かけ・ゴミ手伝い・近所からの相談事や本人からの相談事に対処。病気、怪我、デイサービスなどの業務。
- 声かけ、困った内容を聞き取る。
- 自治会員が会長などに連絡する。
- 出来る人が出来る範囲で協力する。(買物、ゴミ捨て等)
- リサイクル活動時の手助け
- 草取り、枝切り
- 個人情報の問題があり難しいと思う。
- 庭の草刈り・買物代行・見守り活動。富士見団地は商店が無いので毎月、農家による野菜市場開催中。(10年以上継続)
- 現在は近所の人声掛けや見守りをしている。病院や買物等について、たすけあい上平の紹介、民生児童委員と連携した見守り等。
- 当マンションに於ける回覧による周知状況等による。
- 役員により関係機関に相談。
- 高齢者へは民生委員が見守り活動を行っており、案件によって関係機関に繋いでいる。
- 相談にのり対応
- 主に単身高齢者対象に話し相手の活動。また簡単な日常支援。
- 声掛け、ゴミ出し、班長の交代・代理
- 各班長、ブロック長による声掛け、ゴミ出し・各班長からの防犯灯の点検、設置要望
- 買物の手伝いをしています。会員からの連絡を会長宅にしてもらいます。
- 対応できる範囲にて対応し、それ以上については自治体、または関係部署に依頼。
- 先ずは民生委員さんに連絡。小さな親切大きなお世話と言われない様に個人の尊厳と大切に担当窓口へのご案内。
- 西門前いきいきクラブの会員が体調悪くした場合、または施設に通院した人がいた場合はお見舞いか電話、ロコミで対応しています。
- 民生委員の協力の下、困っている人がいる場合は出来る範囲で協力をしています。通院の付き添いや手続きの方法など。
- 私達のグループは作品を寄付するグループの為、それ以外は無いが、個々では傾聴や話し相手・相談にのる等、出来る事はあると思う。
- 独居老人の掘起こし。社会参加が少なく情報が行き届かず孤立。
- 浅間台お助け隊に日常生活支援活動を実施中。
- 民生委員と連携して安否確認やゴミ出しの手伝い等を行っていききたい。
- 各種団体に対応(町内会)
- 今の所、団体としての手助けは考えていない。
- 訪問活動を年4回実施しています。特に一人暮らしの方を重点的に実施。当役員4名で活動中。研修会が出来ればお願いしたい。
- 声かけ・お助け隊(パソコン、スマホのトラブル、重量物の運搬等)を考えているが応募者がいるか？
- 民生委員、社協等を通して具体的な要望を聞いて、自分で出来る事はやりたい。
- 草取り、枝切り等
- 視覚障害者のためのガイド
- 先ず何が出来るのか自治会の理事会で話し合う。その場であれば声かけをする。組織で手助けすれば継続が出来る。
- 困っているとの情報があった場合、執行部中心に対応している。
- 内容により情報提供、一緒に活動する。(クリーン上尾とか)
- 買物代行、草取り、電球の交換等を助け合い愛宕、また民生委員と協力し合い活動をすすめている。
- 台風の時や防犯の戸締り

- 会の活動としては出来ない。但し、活動で培った事を個人の会員として手助けする事は出来る。
- 自治会の役員は西上尾第二団地社協支部の「福祉員」として見守り活動等を行っている。また「団地サービス友の会」を組織して掃除、洗濯、買物代行、付き添い、修理等のサービスを行っている。
- 声掛けして、本人が希望すれば「内容の把握と解決に取り組む」→市役所や関係団体に相談する。
- 毎月末、翌月の活動予定を配布しながら安否確認の声掛けを行っている。
- 基本は週 1 回の夕食をしっかりと楽しく食べてもらいたい。そして、こども支援課に相談する事になるのだろうか。
- 障害児団体なので、現在は話を聞き、それに必要と思われる情報を提供している。
- 社協に相談し、役員や経験者に力を貸してもらおう。上尾市に相談。
- 声掛け、相談にのって出来る事はやってあげ、難しい時は区長に相談する。施設に関する相談がある。意外とケアマネや特養の不満不評があると感じる。
- 構成年齢が高い(平均 82.5 歳)ので特別な事は出来ない。
- ゴミ出し、草刈り等、実施したいが、現状は人手不足のため出来ません。
- 見守り・相談
- 声かけ、ゴミ出し、こども広場の清掃
- 社協、地域包括支援センターへ連絡：古い地域の為、本家分家の繋がりがあり、身内の事は話したがる。
- 班長当番スキップ・他班長の声掛け
- 団体としての統一行動は難しいと思う。
- 様々な活動(いきいきグラウンドゴルフ、料理部、手芸部、カラオケ部等)を実施しており、情報を収集し困っている人を早めに発見し対応している。
- 相談にのり、その内容によっては関係機関への連絡をする。
- 子育て中の人、世帯であれば居場所を提供できる。
- 子育て中の世帯であれば食材配布ができるかもしれない。
- 地域の中で活動する市民団体であるという特徴を生かし、身近な地域住民の困りごとに対して話を聞いたり、必要に応じて様々な機関や情報を紹介する事ができると感じています。
- 声掛けして話を聞く。
- 個人情報分からないため難しい。
- 高齢者宅の花壇、庭の植木剪定、切れた電球の交換、ゴミ出しの手助け等
- お助け隊、枝切りなど
- 関係する部門(行政等)への橋渡し
- 団体としては難しい。個人情報の洩れは好まない為、個人個人で処理している方が多い。無理に動く訳にはいかない。断られる方が多い。
- 当団体は、特に困った人に出会う機会が無い。
- 防犯パトロール時に家庭に寄って確認する。現状では高齢者(75 歳以上)の情報が全く無い。
- 手近なところから、ゴミ出しの手助け
- 声かけ程度は出来るが、具体的に活動出来ていない。
- やりたくても現状では実行できる体勢ができていない。
- 支え合いの会、オレンジカフェ泉台、彩泉会等で、買物同行、病院送迎、草木の剪定、身体障害者との交流等を実施と頻度の増加。
- できることを考えて手助けしたい。
- 声掛けをし、困っている場合粗大ゴミ出し。庭の手入れなどは良く有り実施。
- 当団体の対象世帯であれば、食料支援。
- 子育てサロン活動
- いきいきクラブ役員および町内会への連携、実施事項の相談等。
- 問題によっては、民生委員への連携を行う。
- 声かけ、防犯パトロール
- きこえない人、きこえにくい人が様々な社会参加の場面で、コミュニケーション等のバリアがあれば、適切な機関につなぐなどの対処ができます。きこえる人からの困り事の相談にも答えられます。
- 声かけ、訪問、民生委員・児童委員との情報の共有

- 電話でのお話し相手
- すぐ必要な食料品等の提供
- 独居高齢者に対して、所属の班長さん及び民生委員の見回り。場合によっては、介護認定等について社会福祉協議会との橋渡し。
- 高齢者の団体であるため、会員外への手助けはかなり難しい。会員間での手助けは何でもできると思う。
- 声掛け。パトロール。
- 声掛け（9件）
- ゴミ当番のトラブルに対して当事者間の調整実施。個人の方の手助けについて当町会として組織的に対応するのは難しいが、三役に相談があったときはできる限り個々に対応している。
- 声掛け、適度な距離での見守り、地域を代表して行政への申し入れ。
- 一人暮らし高齢者の見守り、声かけ
- 地域の住民から相談事があれば、できる対応はする。
- 地域リサイクル活動の支援～ご自宅から集積場所への荷物運搬を行っている。やりたいこと 1) 高齢者向けのイベントに際しての人員輸送で、交流の場を広げたい。（足がなく引きこもる人が多くなる） 2) 災害発生時に親に替わって、児童を引取ること～帰宅困難な親の代行を行うなどの支援を地域で行いたい。
- 玄関灯の交換、サロン欠席者への声掛け
- 市役所、警察署等との橋渡し
- 特に多いのがゴミ出し依頼や、小さな困り事。（例えば電球交換など）
- 買い物支援：保険適用の関係上了解してもらえる方のみですが。移動販売車（とくし丸）の定期的開催。
 ゴミ出し：徒歩可能範囲内に集積場を設けているが、それでも無理な方には近所に対応している。
 障害者：地区内の対象者は全員把握している。必要に応じて包括と連絡し情報共有をしている。
 医療機関への送迎：現状では訪問診療に来てもらっているが、近い将来は対応が必要と思われる。
 経済困窮者：対応は全くとれていない。市の担当につなぐだけ。
- 状況の聞き取り。自治会として出来ることを伝える。
- ほとんどの場合、近所の人（隣組）で対応している。
- 隣同士での助け合いは、何かと出来ている世帯もある。市は何処まで考えているのか疑問？
- 自治会の班長単位で住民を見守っている。対象者を把握し易いように、各班の世帯数は10戸前後にしている。
- 班長さんを通して地域内で協力できる人を回覧で依頼する。
- 相談窓口。支援先とのつなぎ。
- 声かけ、ゴミ出し

問8 今後、活動団体が増えていく、また継続していくためには、どのようなことが必要と考えますか。(具体的に記入)

- 会長等の人事がすみやかに行う事ができる事
- 各入居者のふれあいが必要である。
- 高齢者が増え、何をしても高齢者が行わなくてはならないのが今後の課題である。
- 区内人々の理解
- 自治会員の母数を増やす事
- 活動資金の援助(継続使用の為、購入したい道具類がある)
- イベント開催
- 会員の増強
- 市役所のリーダーシップを強くして欲しい。
- 各活動団体の活動状況の PR を区広報や掲示板を活用する。集会所が南側の人は遠いので移動手段を検討する。親子が参加出来る様な行事を行い若い人の層を取り込む。
- 具体的にやっていく事を検討し明確化
- 上組自治会は調整区域の為、人数が増える事は無い。
- 活動の担い手確保
- ボランティア活動を行う人材が不足しており、市役所から人材確保の手伝いをして頂きたい。広報活動。
- 住民のニーズに合った魅力ある活動。役員のなり手不足の解消。
- 支援者の増員
- 地域の地目変更(調整区域から市街地化)
- 草刈り、清掃、見守り、防犯パトロールに際してボランティアである事は理解するが、何らかの報酬、例えばアイス券、文具券等を渡してもいいのではないか。米国ではボランティア寄付が盛んだが、ただしその方々を大きく賞賛している。
- まず若い会員を増やす事ですがなかなか難しいです。
- 無理せず継続していく事・自治会役員、またはサポートする会員の負担を限りなく軽減し、楽しみながら運営できる仕組み。
- 情報交換の場が少ない。
- 運動(グラウンドゴルフ、卓球等)と一緒に体験する。
- 若い人の手が必要と考えるが人間関係にもよるので難しい面も多々あります。
- 新しいメンバーを増やして欠員を補い継続していきたい。
- 人員の確保(人員不足と代表になる人が居なく、継続が難しくなった時があった為)活動内容の見直し
- その地域にあって住民に行き届きやすい環境づくり。地域で活動が機能する手法を考慮。団地・集合住宅・戸建て等の住環境が違う為。
- 後継者の発掘
- 必要性、困った事の発生した時に協力しあえる事が重要であると考えます。
- 後継者の育成
- リーダーを育てること、参加者を増やす事
- 日常活動の中で実施。情報交換も行う。
- 行政の発信・活動の魅力作りと周知
- 新たな楽しみを見つけて実践していく(言うのは簡単だが)。どんな事がやりたいかを聞いてみる。
- 地域住民に PR し参加者を増やす
- 新会員の確保
- その組織で十分に話し合って行動する。
- 各団体の主体性の確立。情報交換の緊密化。
- 広報、回覧
- 人材、リーダー育成
- 地域の助け合いに関心がある方、また協力者の募集をしているが集まらない。無償ボランティア、また多少の金額では限界がきている。
- いままでの行事を見直す。

- 活動場所の定期的な確保。学習会(講座)を通して活動の目的を広める為に関係機関、他団体と連携する場があると良い。
- 1. 様々な内容に真剣に対応できる方でバランス感覚のある方の加入 2. 上尾市としても積極的に参加を期待します。
- こども食堂が増えていく事は、社会状況がこどもにとって生活しにくくなってしまっていくという状態だからとも考えられます。こどもの居場所がきちんと整備され各家庭からこども達の生活を把握出来る様な状態であれば、こども食堂は要らないのかもしれないとも思うので、増えたり継続したりする事への解答は難しいです。
- 毎年社協の仕事が出来る人をサブリーダーとして育てる。2名程度。(地区長や理事以外)
- 良さを感じてもらえる様に努力する。高齢になると短期になる事が多く、同じ団体に所属し続けるケースは高くないと感じる。
- 市の広報に「いきいきクラブ特集」を時々やってもらいたい。
- 活動メンバーの新規加入が必要と考えます。
- 無理。考えていません。
- 1. 新しいメンバーの加入 2. リーダーの育成 3. 活動場所の拡大
- 若い人が参加出来る明るい活動
- リーダーの育成と地道な情報提供
- 活動への理解、意欲のある人がいること
- 自治会内が高齢化しており、若い人との交流が必要と考え夏祭り等を実施しているが、様々な活動が、高齢者が殆どとなっている。
- 参加したくなるような催しを実施する
- 行政側の有効な支援の仕組みづくり・空き家を活用出来るようにする等
- 行政側で団体活動が継続できるような資金面・活動場所等、仕組みづくりが必要。
- 安定した資金源の確保、そして長期的に関われるメンバーが必要と考えます。現状、同世代や子育ての最中(乳幼児)である保護者で運営している為、ライフステージの変化に伴いメンバーの脱退も視野に入れている為、プレーパークに興味がある人を対象に講座を開き安定して活動できる様にしたいと考えております。
- メンバーの増員
- 教えて欲しい。
- 今は施設までの往復に利用できる車、および運転手がメンバー内にいるけれど、高齢化の中、往復の足を確保するのが難しくなる。
- 活動する協力者の増員が必要…活動する方も高齢者が多くなっている。
- 仕事をしている人でも参加・活動が出来る環境づくり
- 高齢化によりプライバシーに入り込めない為、病院の紹介やマッサージで軽い捻挫程度なら紹介しても良い。金銭が絡むのでなかなか難しい時が多い。
- 1. 人が人へ、が一番早い 2. 参加者が少なくても実行していく
- 補助金を増やしてほしい
- いきいきクラブに対し：自治会長、民生委員と一緒に対応すると、更に活動する事により、情報源が、また、新しいアイデアが出るのでは。
- 1. 70才代の会員の増加 2. 自治会と人的交流を含めての協力
- わからない。困っている。
- 必要最低限のイベント開催(実施時期のタイムリー)
- 行政や地域との連携が不可欠。地域のイベントに積極的に参加できる自治会運営が必要。こどもたちが住みたい地域づくりが必要。
- 自治会メンバーでボランティア員を募る。
- 若い世代の参加。フードパントリーの周知。
- どのような活動をしているか?等の情報発信。市広報誌等でのいきいきクラブ活動の紹介、周知を図る。団体役員の仕事量の見直し削減。自治会会員の理解と協力をお願い。自助、共助の大切さ。活動のためにコミュニティセンターなどの部屋確保の競争が厳しくなっています。各公民館は老朽化してきていますが、設備や備品の改修資金が足りていないようです。
- こどもや子育て世代等あらゆる世代が参加しやすい行事を企画し、交流の機会を増やし、地域の人たちが顔見知りになり声を掛けあえる様になること。
- 対象になる利用者を増やす。新しいメンバーを増やす。そのためには傾聴講座が必要。

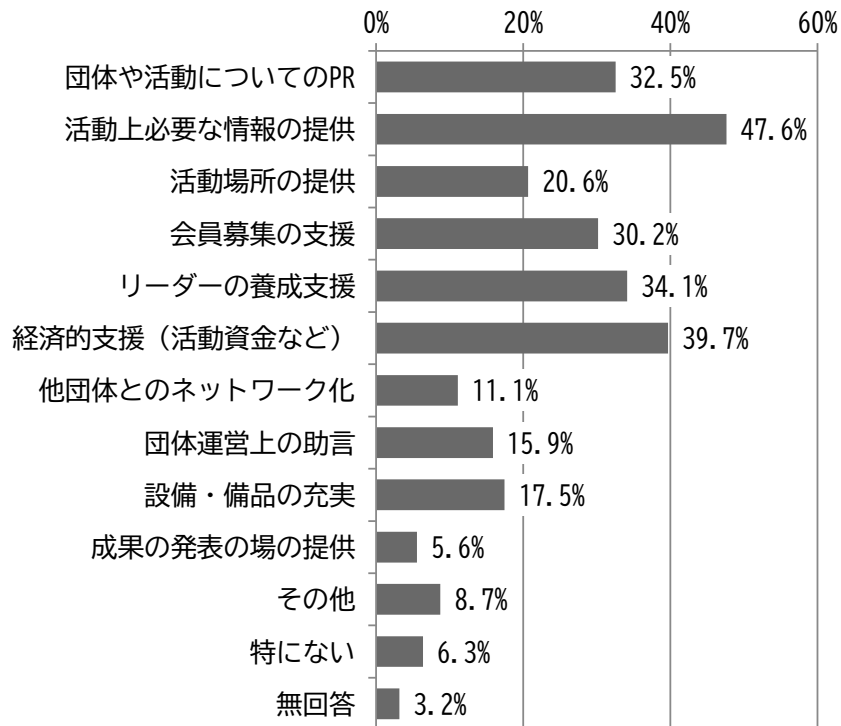
- 活動資金の助成。食料品等の支援。若いボランティア。
- 活動におけるリーダーの養成。活動費（活動資金）の増。
- この問いの活動団体とは何か意味が不明。自身の所属する団体の存続が危ぶまれているのに、他の団体の増加のことなど考えられない。
- 個人情報収集
- 後継者の育成
- 「活動団体が増えていく」の意味が不明？
- 何のために存在しているのかを常に考え、そのために何をすべきかを考える姿勢。若手に参加してもらうための取り組み（仕事、家族との両立を図れる体制、委員会制としてそのイベントが終われば役を降りられるような制度、とにかく気軽に参加、会議はできるだけ少なく等々）
- 常に会員相互がコミュニケーションを取っていくことが必要。そのためには、催しや気軽に集う場を作ること。
- 役員の負担軽減
- 町内会参加を促す啓発
- 地区コミュニティに愛着をもち、課題解決や交流や協力を通じて地域をより住みやすくするための活動に意義を見出してもらうことを目指したい。そのためには、活動の継続性は不可欠と考えます。従って、1. 壮年世代への代替わりを円滑に進めて、継続的な活動にすること。 2. 活動経験を継続的に積み上げ、習熟度を高めていくことが必要である。
- 新鮮なイベント。若い人が楽しめるイベント。趣味の講座。
- 難しい問いです。
- 動ける人材が必要不可欠。高齢者が多く支援できる人を探しているが。
- 活動を担うメンバーを増やしたい。特に60歳代の男性・女性。
- 活動参加への啓蒙活動を様々な機会にしていく。
- わかりません。
- 平日でも手軽に参加出来る状況。
- 「こんな活動からこんな良いことが生まれる」という、具体例の提示により賛同反応を見る。
- 地域活動に参加したいような企画や必要性がないと、これから担当するものがだんだんいなくなってしまうので、仕事をしていても参加できるように、平日参加は無理なので、会議は曜日や時間帯を考えないと難しい。
- 支援制度の明確化と啓蒙。補助金等あるものについての広報活動。
- 楽しく気楽に参加できるようにする。

問9 地域貢献活動に取り組んでいるボランティア団体やNPO団体で、地域や市民にPRしていくべきだと思う団体はありますか。貴団体が把握している範囲でお答えください。
(具体的に記入)

- 花と緑の会(団地内の花の維持管理)木曜シアター(月1回放映)。
- 社会福祉協議会や包括センター
- 高齢化により地域包括支援センターが必要であり、もっとPRしてもらいたい。
- 上尾リーバ、災害支援ボランティア団体
- 市役所が考えるべき問題である。
- 近くの森、トラスト事業を行っています。原市みどりの森再生クラブの私自身、副会長なので当会員から7名入って活動しています。
- 自治会、民生委員等
- やまびこさん
- 地域(町内)見守り、安全防犯、空き家、児童登下校見守り、リサイクル、ゴミ環境等、住環境安全美化活動、向こう三軒声掛け運動
- 把握している団体は無い。
- 防犯活動
- 社会福祉協議会…活動内容が十分には周知されていない。
- 団体の具体的な活動情報、拠点の情報を集約したものがあれば見たい。→自分で協力できるものには行って見たい。
- 防犯パトロール隊・地域リサイクル活動
- ボランティア団体やNPO団体の活動内容が具体的にわかりづらい。
- 社会福祉協議会(2件)
- 地域包括支援センターが主管する「チームオレンジ」について市内全体での支援活動、情報交換する場としてほしい。
- 小学校の登校見守り(ボランティア、教頭先生と町会役員との懇談。毎年1回。)いきいきクラブの活動(ゲートボール、グラウンドゴルフ、集会所で高齢者のおしゃべり会)
- ふれあい電話・傾聴ボランティア・災害ボランティア
- 自治会
- 彩の子ネット・ペンギンの部屋・こども食堂「とまと」(2件)
- 現状、ボランティア団体やNPO団体との横のつながりが少ない為、今後増やしていければと思います。
- いきいきクラブ
- 自主防災会のPR
- 「オレンジカフェ泉台おむすびの会」月一回最終水曜日10:30~12:00に実施。高齢者を中心に歌→体操→おしゃべり→食事を通し親睦を深めている。
- 青少年育成連合会第三地区会議など年間を通じて多くのイベントをやっている。社会福祉協議会西支部としてイベントを開催している。柏座地区として多くのイベントを開催しています。
- 自治会下部組織のまちづくり協議会等
- 現時点ではよくわかりません。
- 決まった範囲の中だけの活動なので、他の団体との交流は無いためわかりません。
- 地域包括支援センター
- いきいきクラブ、支え合いの会、社協
- 三井区に存在する「NPOすけっと」は担い手の高齢化で存続が厳しい。地域にとってその役割は大きく、自治会としてもPRしているが応募者はいない。市でも取り上げてもらえればうれしい。
- 防犯パトロール隊による見守り
- 今のところ、特にPRしたいとか特筆した団体はない。
- 廃品回収ボランティア、青色防犯パトロールボランティア、自転車による防犯パトロールボランティア
- 団地内にあるNPO団体ら・ぽ〜るびれっじ、福祉の便利屋合同会社ねこの手
- 特になし(8件)

問 10 貴団体が活動をしていく上で、市役所・社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

活動をしていく上で、市役所・社会福祉協議会に望むことについては、「活動上必要な情報の提供」が 47.6%と最も多く、次いで「経済的支援（活動資金など）」が 39.7%、「リーダーの養成支援」が 34.1%となっています。



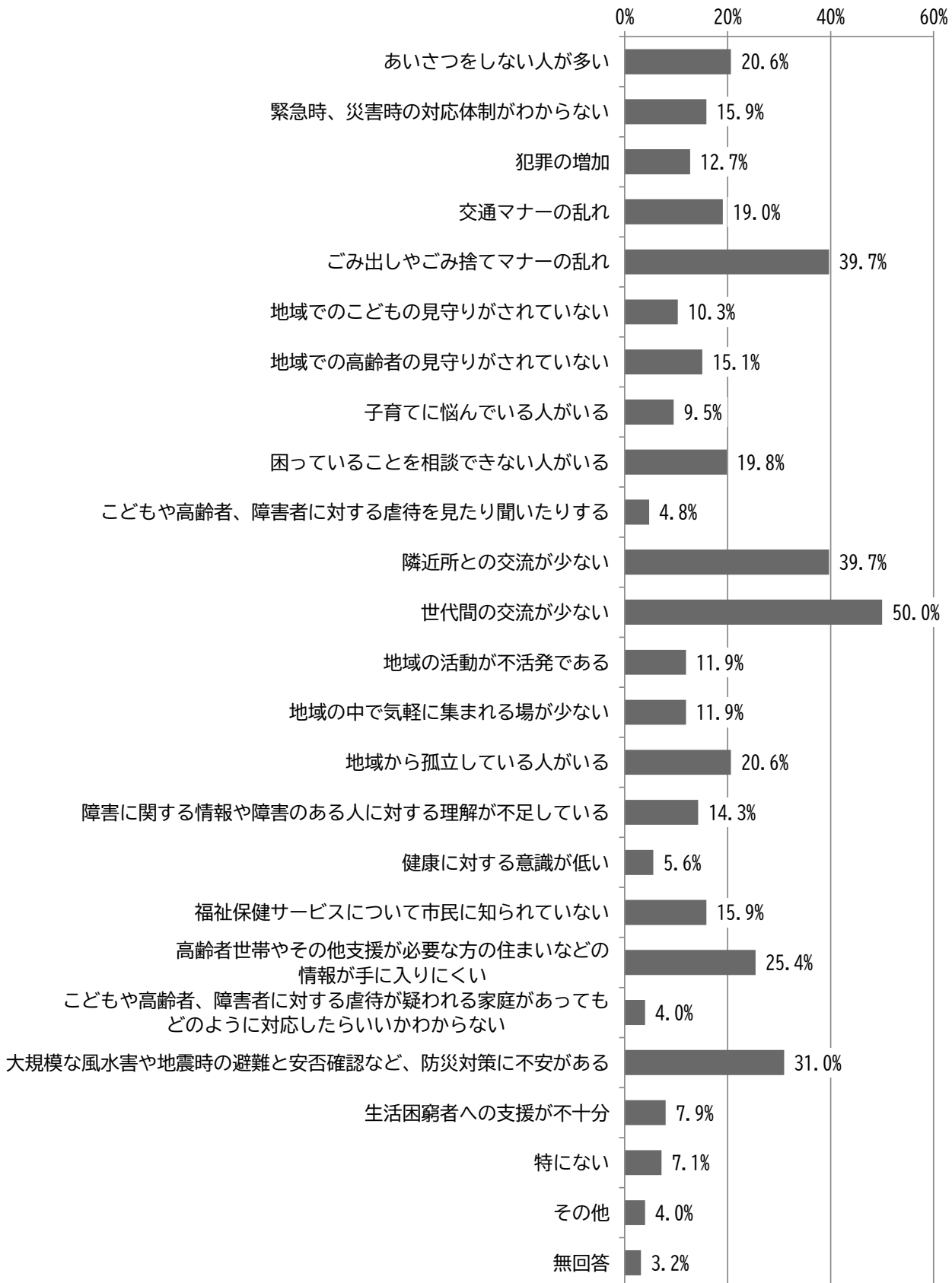
項目	度数	比率
団体や活動についてのPR	41	32.5%
活動上必要な情報の提供	60	47.6%
活動場所の提供	26	20.6%
会員募集の支援	38	30.2%
リーダーの養成支援	43	34.1%
経済的支援（活動資金など）	50	39.7%
他団体とのネットワーク化	14	11.1%
団体運営上の助言	20	15.9%
設備・備品の充実	22	17.5%
成果の発表の場の提供	7	5.6%
その他	11	8.7%
特にない	8	6.3%
無回答	4	3.2%
回答者数	126	

【「その他」の記述】

- 高齢者用レクリエーション・リーダーの養成
- 補助金の入金に時間がかかる。遅い。
- 民生委員等の人材確保
- 上尾広報に団体の成果を掲載する。
- 全体を通じて「社会福祉」がどういう事なのか分かっていない。
- 要請される役員の見直し
- 傾聴講座などの医療、福祉関連の講座
- 分からない。
- 公民館の建て替え、または地震対策に対する金銭的支援。自治会（団地など）によっては敷地内に公的な資金で公民館が設置されているが、当町内会は主に一戸建てのため緑丘公園内に自費で建設したもので老朽化が目立つ。
- 自治会に丸投げの感じがするので具体的に自治会運営に関わってもらいたい。
- 自治会の必要性、自治会が存在しなければ何が問題になるのかを情報提供してほしい。

問 11 活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

活動を通じて感じる、地域の問題点や課題については、「世代間の交流が少ない」が 50.0%と最も多く、次いで「ごみ出しやごみ捨てマナーの乱れ」「隣近所との交流が少ない」がともに 39.7%となっています。



項目	度数	比率
あいさつをしない人が多い	26	20.6%
緊急時、災害時の対応体制がわからない	20	15.9%
犯罪の増加	16	12.7%
交通マナーの乱れ	24	19.0%
ごみ出しやごみ捨てマナーの乱れ	50	39.7%
地域でのこどもの見守りがされていない	13	10.3%
地域での高齢者の見守りがされていない	19	15.1%
子育てに悩んでいる人がいる	12	9.5%
困っていることを相談できない人がいる	25	19.8%
こどもや高齢者、障害者に対する虐待を見たり聞いたりする	6	4.8%
隣近所との交流が少ない	50	39.7%
世代間の交流が少ない	63	50.0%
地域の活動が不活発である	15	11.9%
地域の中で気軽に集まれる場が少ない	15	11.9%
地域から孤立している人がいる	26	20.6%
障害に関する情報や障害のある人に対する理解が不足している	18	14.3%
健康に対する意識が低い	7	5.6%
福祉保健サービスについて市民に知られていない	20	15.9%
高齢者世帯（一人暮らしなど）やその他支援が必要な方の住まいなどの情報が手に入りにくい	32	25.4%
こどもや高齢者、障害者に対する虐待が疑われる家庭があってもどのように対応したらいいかわからない	5	4.0%
大規模な風水害や地震時の避難と安否確認など、防災対策に不安がある	39	31.0%
生活困窮者（※）への支援が不十分	10	7.9%
特になし	9	7.1%
その他	5	4.0%
無回答	4	3.2%
回答者数	126	

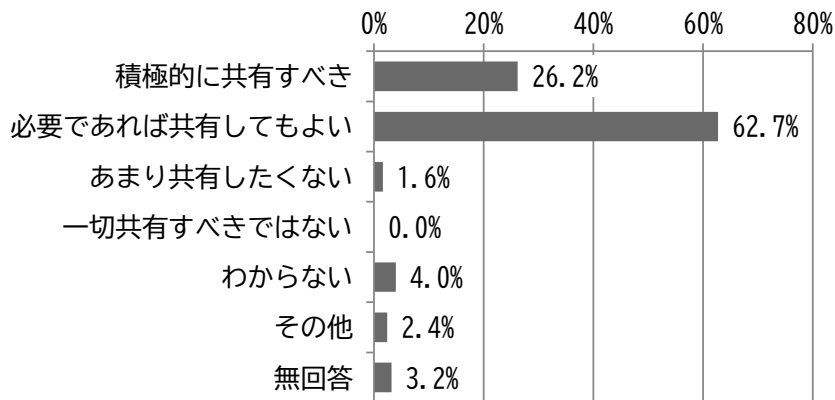
※生活困窮者：現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者。
（生活困窮者自立支援法より）

【「その他」の記述】

- どのレベルをわからない・されていないかの判断が出来ない。
- 地域の活動に関心の無い世帯が多い。自分の生活中心。
- 地域に住んでいるだけで、他と交流しようと思わない人が多い。
- 現在の災害に対応できる市の体制が取れていない。弱い。
- 街路灯が少なく犯罪の恐れがある、不審者を排除する環境整備が必要。

問 12 あなたは、地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止などのために、自治会・町内会・区会を単位とした支援者が必要な個人情報を活用する方法をどのように考えますか。(該当に○) ※本人の事前の同意を前提としています。

自治会・町内会・区会を単位とした支援者が必要な個人情報を活用する方法については、「必要であれば共有してもよい」が 62.7%と最も多く、次いで「積極的に共有すべき」が 26.0%となっています。



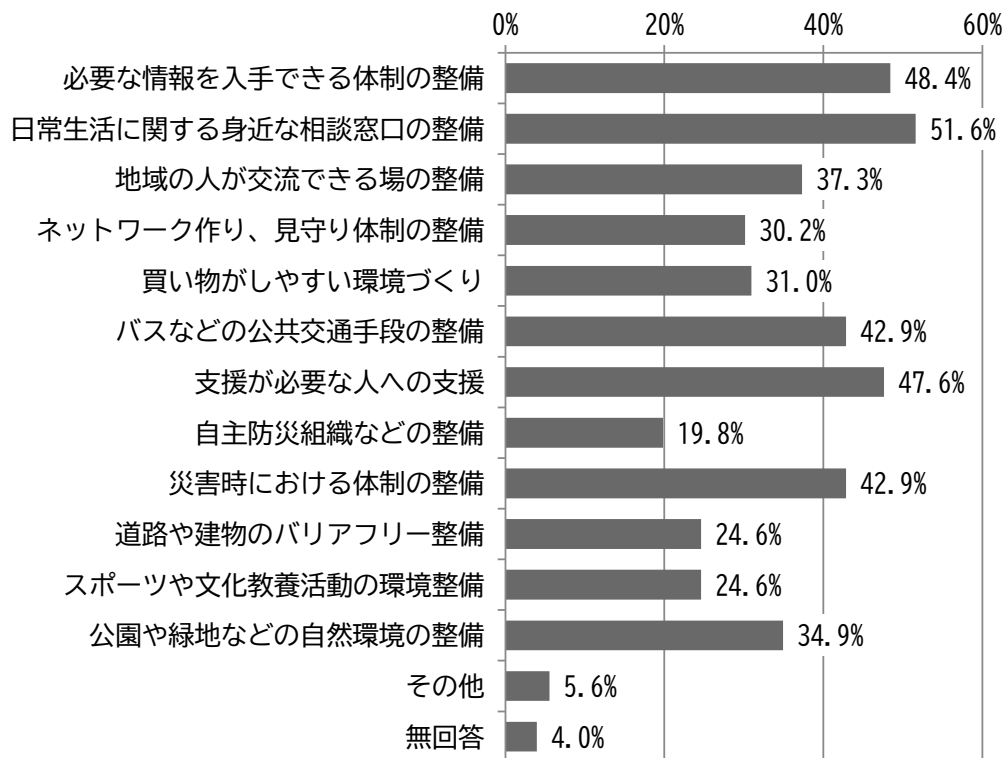
項目	度数	比率
積極的に共有すべき	33	26.2%
必要であれば共有してもよい	79	62.7%
あまり共有したくない	2	1.6%
一切共有すべきではない	0	0.0%
わからない	5	4.0%
その他	3	2.4%
無回答	4	3.2%
合計	126	100.0%

【「その他」の記述】

- 個人のプライバシーもあり深掘り出来ず難しい状況が予想される。
- 個人情報なので公開できないと思う。
- 近年、個人情報は保護しなければならないが関係者には公表しても良いと思う。(自治会役員、民生委員)

問 13 すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要だと思うことについては、「日常生活に関する身近な相談窓口の整備」が 51.6%と最も多く、次いで「必要な情報を入手できる体制の整備」が 48.4%、「支援が必要な人への支援」が 47.6%となっています。



項目	度数	比率
必要な情報を入手できる体制の整備	61	48.4%
日常生活に関する身近な相談窓口の整備	65	51.6%
地域の人が交流できる場の整備	47	37.3%
ネットワーク作り、見守り体制の整備	38	30.2%
買い物がしやすい環境づくり	39	31.0%
バスなどの公共交通手段の整備	54	42.9%
支援が必要な人への支援	60	47.6%
自主防災組織などの整備	25	19.8%
災害時における体制の整備	54	42.9%
道路や建物のバリアフリー整備	31	24.6%
スポーツや文化教養活動の環境整備	31	24.6%
公園や緑地などの自然環境の整備	44	34.9%
その他	7	5.6%
無回答	5	4.0%
回答者数	126	

【「その他」の記述】

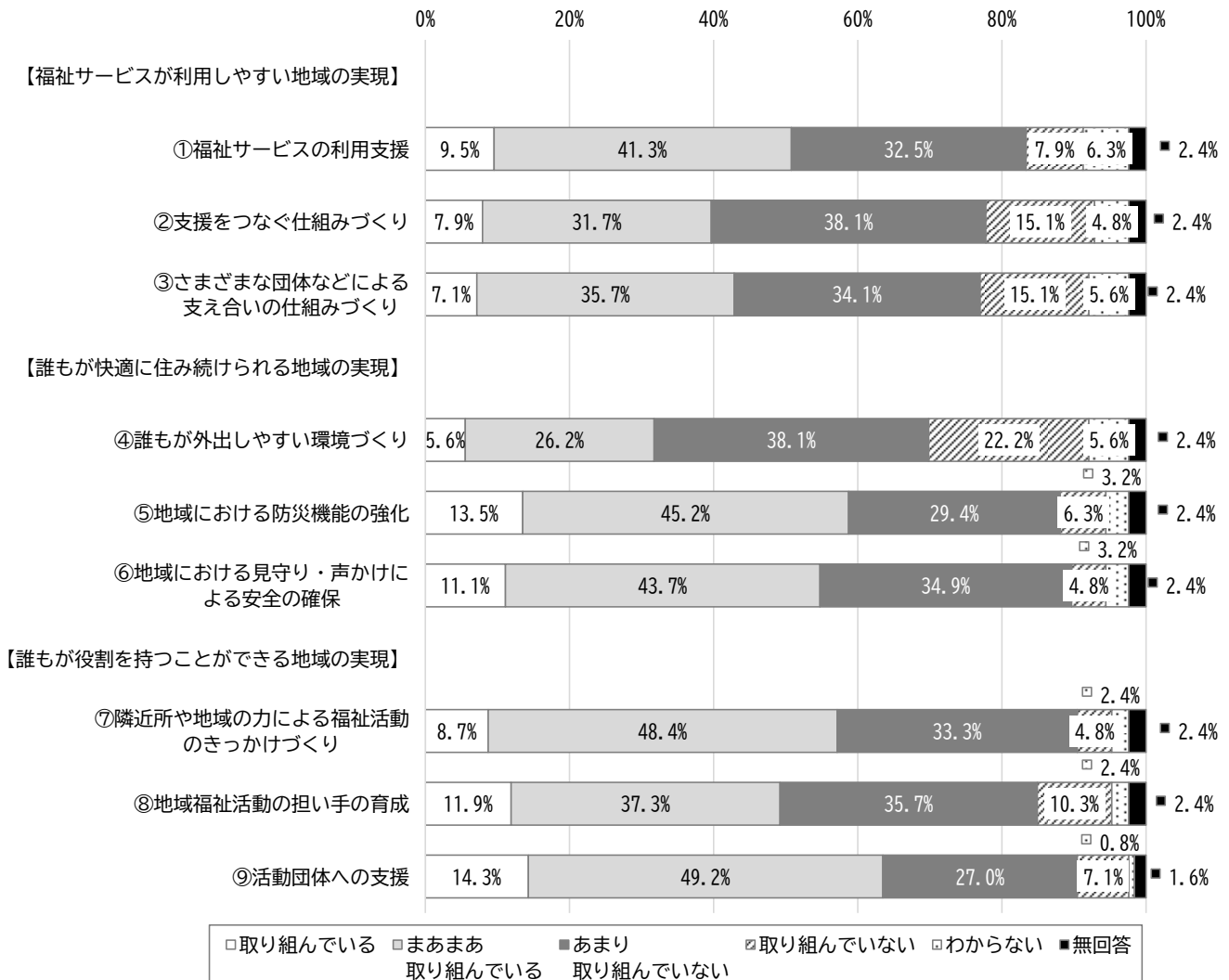
- 農地対策(遊休農地の有効活用)、道路整備(舗装、ライン)
- バスなどでなくデマンドタクシー制度作り
- 学校統廃合計画を中止し、小さな学校を残して地域を守る事。(2件)
- 常設でいつでも集える場所
- 芝川通り沿いのバス運行は急務。
- こどもの遊び場作り

問 14 地域における取り組みについて、現在の状況と今後の期待度はどれにあたりますか。(それぞれひとつだけ○)

■取り組み状況

現在の取り組み状況の「取り組んでいる」「まあまあ取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』では、「⑨活動団体への支援」が 63.5%と最も多く、次いで「⑤地域における防災機能の強化」が 58.7%、「⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり」が 57.1%となっています。

一方、「あまり取り組んでいない」「取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』では、「④誰もが外出しやすい環境づくり」が 60.3%と最も多く、次いで「②支援をつなぐ仕組みづくり」が 53.2%、「③さまざまな団体などによる支え合いの仕組みづくり」が 49.2%となっています。



上段：度数 下段：比率

項目	取り組んでいる	取り組みあっている	あまり組んでいない	取り組んでいない	わからない	無回答	合計
【福祉サービスが利用しやすい地域の実現】							
①福祉サービスの利用支援	12 9.5%	52 41.3%	41 32.5%	10 7.9%	8 6.3%	3 2.4%	126 100.0%
②支援をつなぐ仕組みづくり	10 7.9%	40 31.7%	48 38.1%	19 15.1%	6 4.8%	3 2.4%	126 100.0%
③さまざまな団体などによる 支え合いの仕組みづくり	9 7.1%	45 35.7%	43 34.1%	19 15.1%	7 5.6%	3 2.4%	126 100.0%
【誰もが快適に住み続けられる地域の実現】							
④誰もが外出しやすい環境づくり	7 5.6%	33 26.2%	48 38.1%	28 22.2%	7 5.6%	3 2.4%	126 100.0%
⑤地域における防災機能の強化	17 13.5%	57 45.2%	37 29.4%	8 6.3%	4 3.2%	3 2.4%	126 100.0%
⑥地域における見守り・声かけによる安全の確保	14 11.1%	55 43.7%	44 34.9%	6 4.8%	4 3.2%	3 2.4%	126 100.0%
【誰もが役割を持つことができる地域の実現】							
⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり	11 8.7%	61 48.4%	42 33.3%	6 4.8%	3 2.4%	3 2.4%	126 100.0%
⑧地域福祉活動の担い手の育成	15 11.9%	47 37.3%	45 35.7%	13 10.3%	3 2.4%	3 2.4%	126 100.0%
⑨活動団体への支援	18 14.3%	62 49.2%	34 27.0%	9 7.1%	1 0.8%	2 1.6%	126 100.0%

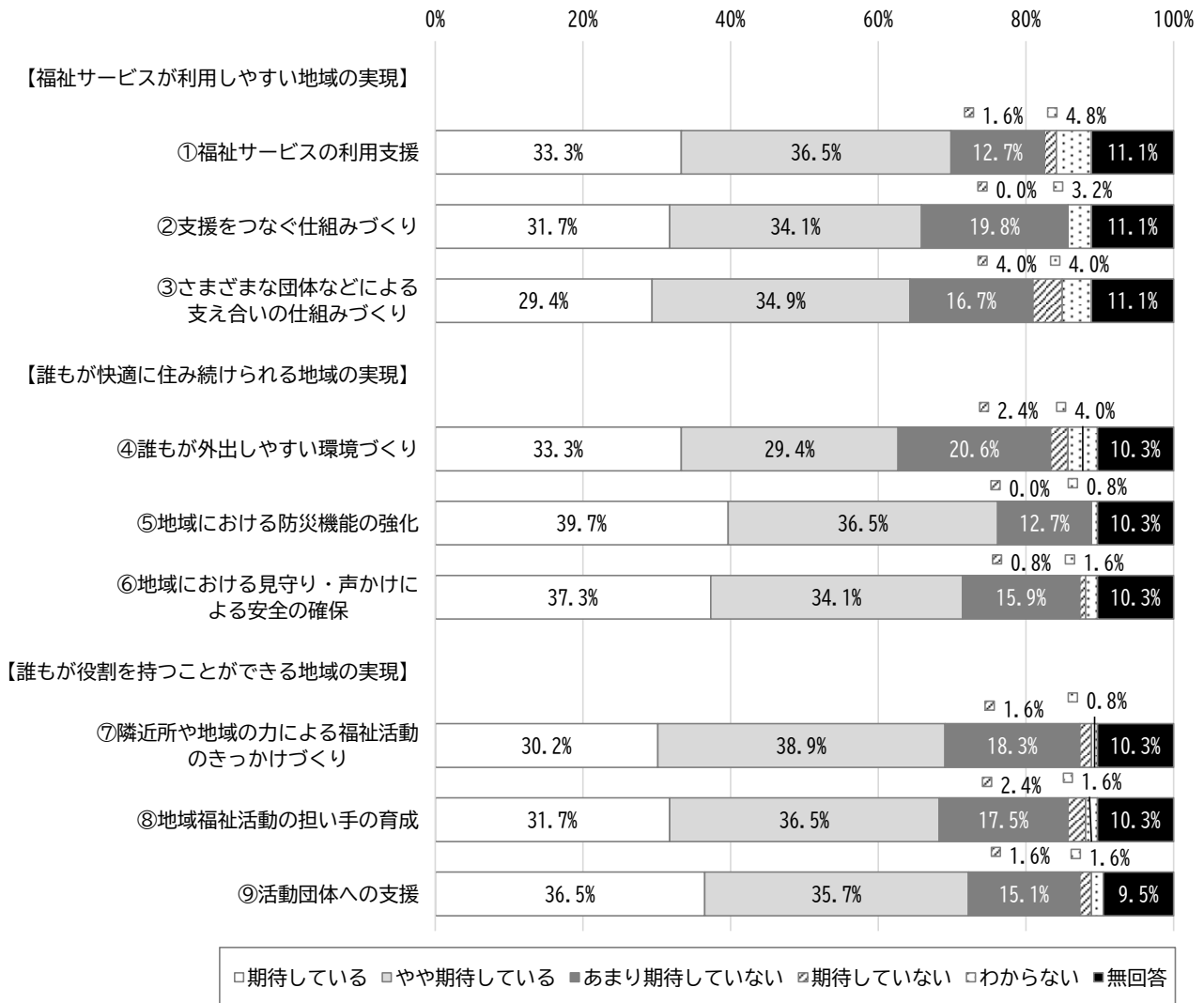
※参考 取り組みと具体的な内容

【福祉サービスが利用しやすい地域の実現】	
①福祉サービスの利用支援	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な福祉サービスが受けられる ●わかりやすい、適切な情報を入手できる ●判断能力の不十分な人が適切に制度やサービスが利用でき、権利が守られる
②支援をつなぐ仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●困っている人が気軽に相談できる場がある ●困ったときの相談窓口が周知されている ●仕事や生活に困っている人が支援を受けられる
③さまざまな団体などによる支え合いの仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●市民や団体が参加しやすい、活動しやすい環境がある ●福祉にかかわる団体が連携して、困っている人を支えている ●地域のボランティアが増え、育成されている
【誰もが快適に住み続けられる地域の実現】	
④誰もが外出しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが外出しやすい、利用しやすいまちづくりがすすめられている ●市民が利用しやすい公共交通網が充実している ●高齢者や障害者の移動支援や外出支援、生活支援が充実している
⑤地域における防災機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●防災に関する情報提供が充実している ●自主防災組織の活動により、地域の防災力向上が図られている ●防災訓練への参加など、市民意識が醸成されている ●助けが必要な人が、緊急時に素早く避難できるような連携や体制づくりがすすめられている ●災害ボランティアが育成されている
⑥地域における見守り・声かけによる安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障害者世帯の見守り支援が行われている ●子育て家庭の孤立化防止、ひきこもり防止、虐待防止の取り組みが行われている ●悩みごとを抱えた人が気軽に相談できる場がある ●消費者被害の防止、地域の防犯活動が行われている
【誰もが役割を持つことができる地域の実現】	
⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●普段のあいさつや声かけが行われている ●地域の行事へ積極的に参加している ●地域の活動が活発に行われている ●障害などの福祉に関する教育や啓発が行われている
⑧地域福祉活動の担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなが気軽に取り組める健康づくり活動やイベントが行われている ●地域の活動やボランティア活動についての情報が提供されている ●地域の活動や健康づくり、ボランティア活動などに関わる人が増えている
⑨活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障害者、子育て中の人などが、生きがいや仲間づくりに気軽に集まれる場や機会がある ●気軽に集まれる場や機会の情報が提供されている

■期待度

今後の期待度の「期待している」「やや期待している」を合わせた『期待している』では、「⑤地域における防災機能の強化」が76.2%と最も多く、次いで「⑨活動団体への支援」が72.2%、「⑥地域における見守り・声かけによる安全の確保」が71.4%となっています。

一方、「あまり期待していない」「期待していない」を合わせた『期待していない』では、「④誰もが外出しやすい環境づくり」が23.0%と最も多く、次いで「③さまざまな団体などによる支え合いの仕組みづくり」が20.7%、「⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり」「⑧地域福祉活動の担い手の育成」がともに19.9%となっています。



Ⅱ 調査結果【3 福祉関係団体】

上段：度数 下段：比率

項目	期待している	やや期待している	あまり期待していない	期待していない	わからない	無回答	合計
【福祉サービスが利用しやすい地域の実現】							
①福祉サービスの利用支援	42	46	16	2	6	14	126
	33.3%	36.5%	12.7%	1.6%	4.8%	11.1%	100.0%
②支援をつなぐ仕組みづくり	40	43	25	0	4	14	126
	31.7%	34.1%	19.8%	0.0%	3.2%	11.1%	100.0%
③さまざまな団体などによる 支え合いの仕組みづくり	37	44	21	5	5	14	126
	29.4%	34.9%	16.7%	4.0%	4.0%	11.1%	100.0%
【誰もが快適に住み続けられる地域の実現】							
④誰もが外出しやすい環境づくり	42	37	26	3	5	13	126
	33.3%	29.4%	20.6%	2.4%	4.0%	10.3%	100.0%
⑤地域における防災機能の強化	50	46	16	0	1	13	126
	39.7%	36.5%	12.7%	0.0%	0.8%	10.3%	100.0%
⑥地域における見守り・声かけに よる安全の確保	47	43	20	1	2	13	126
	37.3%	34.1%	15.9%	0.8%	1.6%	10.3%	100.0%
【誰もが役割を持つことができる地域の実現】							
⑦隣近所や地域の力による福祉活動 のきっかけづくり	38	49	23	2	1	13	126
	30.2%	38.9%	18.3%	1.6%	0.8%	10.3%	100.0%
⑧地域福祉活動の担い手の育成	40	46	22	3	2	13	126
	31.7%	36.5%	17.5%	2.4%	1.6%	10.3%	100.0%
⑨活動団体への支援	46	45	19	2	2	12	126
	36.5%	35.7%	15.1%	1.6%	1.6%	9.5%	100.0%

- 活動の殆どが無償ボランティアで協力者次第。誘う側にもっと強力な手段が必要と考える。それは端的に資金面です。誘う側としては、有償ボランティアであると気軽に声かけが出来やすいのではないかと思う。これまでも福祉関係活動を立ち上げてきたが金銭面は町会費を充当。なかなか要支援者の声が聞こえてこないのが実態。もっと発信力を高めていく事が必要と考える。手段は要検討。
- 住民同士の繋がりを強める。誰もが参加しやすい地域づくり。安全・安心確保。地域の課題を共有し解決し協働で進める、将来の担い手づくり。
- 政治家は「誰もが」と言う。我々、市民は、せめて一人一人が相手を気遣う心を持つ事、隣近所とせめて助け合う気持ち、これで充分。
- 特に思う事は運営面の事で金銭的な事です。当クラブの予算は市から補助金 6 万円、会員の会費月 200 円、自治会からの補助金 10 万円がありますが、毎月の定例会に出費する菓子代、会員の誕生会の祝品等、決算書を見れば分かると思いますが運営するのに苦労しています。
- 自転車のマナー、スピード。道路幅が狭く自転車、歩行者への安全確保が必要。道路の改善。自転車王国の上尾はもっと安全対策をすべし。駅前駐輪場を再整備して欲しい。
- 当地区は高層住宅、また集合住宅が多く、戸建ての家が少ない。終の棲家として購入される方々もいるが一時的に住まわれる方も多く隣組意識が低い。よって町内会加入率も年々下がっている。定年が延長され役員(町会)適格者が少ない。大型店の進出により地元商店街は衰退する一方。町の力が落ちて来た。PTA も子ども会も解散する地域が多く、町内会の運営もやがて停滞していく。今、歯止めをかけないと総て公助に突き進んでいく気がしている。
- 1. 高齢化が増していく中で交通手段が不足している。ぐるっとくんバスの増便を期待しています。買物、通院手段の解消。 2. 車の事故等防止の為にカーブミラーの増設。
- 現在、私も高齢者ですが、自分の健康は自分で守る、をモットーにして出来る範囲でフレイル予防を心がけています。行政の施策などもうまく取込み、広報等から情報を得て出来る範囲で実行しています。増々高齢化が進む中で各自が生きがいを見いだせる様な取組みも必要ですが、自己責任の下で自覚を持ち、今後も健康寿命を延ばしていければ嬉しいと考えています。
- 行政の縦割りが高齢者の団体にとっては取組みづらい面がある。目的の対象者が同じでも縦割りの支援の為、分散・分割した支援で各責任者の役割分担で社会損失が生じ、目的狙いが分散する為、非効率で集合性に欠ける。統一が取れているクラブ(団体)はリーダーが兼務し組織運営を上手に活動・運営している。
- 高齢化が進むなか積極的に会員の加入に努力する。
- 埼玉県では民間建築物のアスベスト除去工事に対して補助金制度があるのに、上尾市には補助金制度は無いとの事。この制度は県が市に委託しているとの事であるのに市では取り扱っていないのはおかしい。※県の事業を上尾市は事業として扱わないという事はどういう事か。
- アンケートの質問内容が多岐に渡り回答できないものもあった。貴団体も町内会・自治会を各種団体とでは活動内容や組織・編成も異なるので、対象を絞ったものにした方がよい。
- 町内会に加盟する家庭が減少している。アピール不足と加入しなくても情報(最近のもの)は得られる社会である。町内会が無くなった時、どの様な不自由を感じるか、加入している利点を明確にすべき。
- 孤立する人は身体虚弱、情報弱者が多いので、個別の訪問活動が重要。住民票上の人員と生活実態が異なる為、民生委員の対象とされていない人も多い。市の非常勤公務員等として年1回でも住民票上で心配な方があれば訪問して頂きたい。
- 制度的情報は行政などがしっかり相談窓口や提供体制を整えるべき。地域はコミュニティをベースにした安心、安全の促進が基本。
- 1. 1人で住んでいる人や孤立者への見守り活動を強化すべきだ。 2. 集合住宅やアパート(町内会に入っていない人)は管理会社や大家さんに見守りする対応を義務化させるべきだ。
- 1. 収入や身分に関係無く正直に生きていける地域社会を目指す。 2. 自助・共助・公助のバランスの取れた社会が出来る様に上尾市の取組みを期待します。(特に自然災害発生時) 3. 世代を問わず情報を共有・取得できる環境を整備して欲しい。具体的に高齢者世代ではインターネットによる情報を入手出来る人が少ない。また新規整備するにも初期費用が掛り、取組める方も少ない。その為、自治会役員のなり手不足の為にペーパーレス化も進まない。さらに老人切り捨てにもなりかねない。上尾市掲げてのインターネット環境整備に取組んで頂きたい。例：上尾市として「高齢者向けインターネット環境整備支援金制度」の構築をお願いします。

- 上尾市のいきいきクラブ会長の研修会が4年前くらいに社会福祉協議会の活動を知ろうとの内容であった。ベテランの会長数名が社協の存在に意味があるのかと言い出し驚いた。コーディネーターの方が推進係、世話係の様になっているが、人柄、能力のバラツキが大きく社協組織の脆弱性を感じた8年間でした。
- 上尾街中花畑…休耕田、畑地に花を植え、ベンチ等を設け、ミニ公園化する。「ふれあいの場」づくり。地主には借り上げ、花植えはボランティア募集。一年中そこに集まれば、それぞれいつの季節にも色々な花が楽しめる場所づくり。
- 1.誰もが願っている3つの「しやすい」項目…「外出しやすい、買物しやすい、利用しやすい」の公共交通網を作って頂きたい。 2.平塚サッカー場の平日の開放をして頂きたい。(平日は殆ど利用が無いので)
- 自治会内の高齢化が進んでおり、役員を選出するのに苦慮しており、自治会への補助金の増額をお願い致します。
- 親睦を深めお互いに助け合える環境づくりが肝要と考える。まず、集まって顔を合わせて話をする機会を作る。子育て世帯：こどもを主とする企画、子育て何でも相談員的な方が自治会支部ごとに出向き講演、相談にのる。高齢者世帯：とにかく外出させて憩いの時間を作る。お茶会的なもの。いずれも自治会での努力が必要と考えていますが、人材が足りません。
- 上記を実現する為に行政の果たす役割は大きいと考えられる。団体アンケートをとるのは良いが、まず実際の活動を理解し、利用している人々の実態を把握してほしい。学校統廃合計画を中止し、地域の中の小さな学校を無くさないでほしい。学校はこども達の教育の場のみならず、地域の中の防災・文化・生活の拠点であるから。(2件)
- 私個人としては、地域のこどもは地域の中で育っていく事を理想としております。今回のアンケートで初めて上尾市や社協の方々の取組みを知る事が出来ました。プレーパークを開きながら、高齢者の方々はいつも温かく遊び場を見守って下さります。高齢者と小さなこどもが一緒になって行うイベントがあれば、こども支援課様はじめ、色々な子育ての場で共有してもらえたらと思います。また「困った時に頼れる関係性」を育てる場、制度やサービスでは支えきれない部分を補う為のプレーパーク、居場所作りなど、年齢や属性を超えて関われる場への支援を充実させて頂けたら有難く思います。宜しくお願い致します。
- 今回のアンケートで具体的に求めてくるが、行政もちゃんと「検討します」で引き伸ばす事はやめて具体的な回答をしてくれないと困る。住み良くする為の問題を投げかけた時に、誠意の感じられない受け答えはしてほしくない。
- 食料品のロス無くす為、期限切れ寸前の品物を集め生活困窮者に低価格で売る、または無料で渡す。そんな事も考える必要があると思う。
- 子ども会が無くなった地域があるとの事。あった方がいいと思う。情報は回覧板で回ってくるが読み込みが出来ていない。個人情報を守り過ぎていて活動しにくい。役員になると大変なので引き受けたくない傾向。
- 「社会福祉」に該当するか分からないが、だんらんの家といきいき連は合体して一本化した方がいいと思っております。
- 年代のはざ間であり、苦しい時代だと思っておりますが、自分自身の為、微力ですが尽くして行きたいと思っております。
- 町ごとに、いつでも集える場所をつくる。福祉の拠点として常駐者を配置する。担当者に地域の活動を見て参加してほしい。何年も現場でお会いしたことはありません。
- 地域の集まり等で顔を合わせる機会が少なくなった方が増えている現状を踏まえ「一人にさせない集いの場をつくる」ことが重要と思います。そのため少人数でも良いから、65才以上の方を中心に出来るだけ声をだして欲しいという思いを込め歌とお口の体操を実施。簡単な食べ物の用意し皆でおしゃべりをし、料金は無料。会の基準は設けなくて、どなたでも受け入れるという考え方を徹底していくのが良いと思います。
- 中学校教師の働き方改革で部活ができなくなる方向について再検討をしていただきたい。上尾だけが一番風呂に入るために先生や生徒の意見をあまり聞いていない状態で事をすすめていると思われる。今年は各中学校の団体部活であまり成績がよくない状態になった。どうしてか？学校の部活に入らない生徒が多くなったからである。生徒が入りたいと思う部活の体制を整えるのも行政の役割だと考えます。教師、先生ファーストではないと思います。生徒ファーストで物事をすすめてください。そうでないと住みよい上尾で声を大きくしている状態が滑稽に思えます。どうかよろしくお願いたします。

- 市民の意見を伝える場がないので、そういう場をもっと作るべき。
- アンケートの主題が、自分達の団体の問題点を問われているのか?また、行政側に期待している点を問われているのか?漠然とした設問の為、答えにくい面が多々ある。問 2、問 3 の機関、団体選びは、より選択しにくかった。(仕方なく選んだ。) 会員数は、1500 世帯です。以上
- 特にありません
- 買い物困難者、交通困難者が出ないよう過疎地も含めて上尾市として総合的な開発、援助をして欲しい。各自治会と市がよく話し合いをしながら、しっかり話を聞き要望を聞きながら自治会継続に努力して欲しい。
- 近所付き合いが少なく、高齢者の孤立化がある反面、詐欺などの犯罪が増え、私達のような電話のボランティアでさえも避けられている傾向があります。話し相手を求めているながら、繋がることのできない現状を残念に思います。ボランティアや支援団体に繋がる窓口がわかりやすいこと、気軽に相談できることは大切。近所だけであっても、挨拶をしあえる関係性ができていくこと、声かけ、見守りを誰もができることが、犯罪からも守ることができるように思います。信頼できる交流が増えていくことを期待しています。
- 色々な団体とのネットワークができて、お互いに助けたり助けられたり、日頃から情報交換などができると良いように思います。
- 設問が多すぎる。(答えがいい加減になってしまう) ほとんどの設問に答えるのが必須であるが、難しくて答えに苦しむものが多い。
- 市主催のイベント等がマンネリ化している。報告書類が多い。
- 当町内の住民(特に西側)は北上尾駅や PAPA の利用者が多いけれども北上尾駅方面に行く手段は自家用車か自転車に限られている。芝川通り沿いに北上尾駅東口行「ぐるっとくん」が運行されれば駅、交番、郵便局、PAPA、コンビニへのアクセスが改善されるが?団らんの家を3回/年開催しているが公民館まで遠い方々は参加できない。西側にある空き家を利用できれば近くで開催できるが、所有者の連絡先が不明。空き家に動物がいるとの情報もある。空き家所有者に関する町内会への情報開示は可能か?当町内会の公民館は木造2階建てで耐震工事は未施工。できれば建て替えたいが資金面で市の援助が得られないか。
- わが地域は、市街化調整区域のため自然は豊かではあるが、新しい住民が入ってこない。農地も担い手が無く荒れ放題。こうしたことの解消に力を貸していただきたい。
- 小地域単位(500 世帯前後)での地域コミュニティを形成し、福祉・支援を充実できる仕組みが必要だと思います。手の届く、顔が見える規模での活動の充実できる諸施策を展開していただきたい。
- この団地には、すでに 8ヶ国の住民が暮らしている。それらの方との交流や、発信を受け止めてもらう事が大きな課題だと思う。外国籍の方々は、若い方が多く、活動の担い手となってくれた時は頼もしい存在だと思うので、彼らを巻き込める方法が知りたいです。
- 質問の内容と異なりますが、このアンケートについてですが設問が分かりづらいので工夫が必要だと思います。
- さいたま市への外出は最寄り駅にバスがあるので、高齢者でも出かけやすいです。市役所出張所で済まない用事の時の交通手段が少なくもう少しバスの本数が増えることを要望します。または、出張所での手続きが増えるようにしてもらえればと思います。
- 問 17~19 の意味内容がよく分かりません。市または社協としては、どの程度出来ていると思っているのですか?直接、地域に入り込んで聞き取り調査をした方が、生きた情報が得られると思います。
- 上尾市内でも過疎地域が有り、戸数、人口の減が急速に進む地域も有り自治会の合併等が必要な地域も有り、市内の中央部との格差が激しいです。
- 自治会で事業計画をしても参加する人はいつも同じ方が多く、もっと必要とされる自治会運営をしていかないと自治会は会員がいなくなってしまう。個人個人が何を求めているかわからないため難しく、役員のなり手が見つからないために自治会の活動の継続が厳しい状況である。
- 安全に道路を歩ける歩道の整備が大切である。
- 連携を取ってやって行けたらと思います。